

# 令和7年度 社会福祉法人慈光明德会 事業計画

創立82年目

本部所在地：熊本県球磨郡湯前町1962番地1 幼保連携型認定こども園 慈光こども園  
理事長：藤岡洋子

《法人運営施設》

## 熊本県

法人本部

幼保連携型認定こども園 慈光こども園・一時あずかり事業（一般型・幼稚園型）・病児保育事業

放課後児童健全育成事業 慈光学童クラブ・延長保育事業

地域子育て支援拠点事業 子育てサークルフォーリーブス

## 東京都

東京支部（足立区 谷在家）

法人東京事務所（足立区 西新井）

【地域型保育事業：小規模保育A型】（足立区）

S A K U R A 保育園 竹の塚

S A K U R A 保育園 西新井

S A K U R A 保育園 綾瀬

【認可保育所】

S A K U R A 保育園千川（豊島区）延長保育事業・病児保育事業

S A K U R A 保育園谷在家（足立区）延長保育事業・病児保育事業

【障害児通所支援事業】

L S J 竹の塚（足立区）

L S J 梅田（足立区）

L S J 谷在家（足立区）

議決機関

評議員会（7名）

執行機関

理事会（6名）

理事長

監査機関

監事（2名）

令和7年度  
社会福祉法人慈光明徳会  
組織図

法人本部（熊本）

法人本部 統括園長

法人東京事務所（足立区西新井4丁目）

法人東京支部（足立区（谷在家）

幼保連携型認定こども園

慈光こども園 定員55名

放課後児童健全育成事業

慈光学童クラブ

地域子育て支援拠点事業

一時預かり事業（幼稚園型・一般型）

病児保育事業（体調不良児対応型）

延長保育事業

認可保育所

SAKURA 保育園千川 定員66名

認可保育所

SAKURA 保育園谷在家 定員100名

2施設ともに病児保育事業・延長保育事業実施

障害児通所支援事業

LSJ 竹の塚 1日の利用定員 10名

LSJ 梅田 1日の利用定員 10名

LSJ 谷在家 1日の利用定員 20名  
児童発達支援10名  
放課後等デイサービス10名

小規模保育事業

SAKURA 保育園 竹の塚 定員19名

小規模保育事業

SAKURA 保育園 西新井 定員17名

小規模保育事業

SAKURA 保育園 綾瀬 定員19名

3施設：延長保育事業・一時預かり事業実施

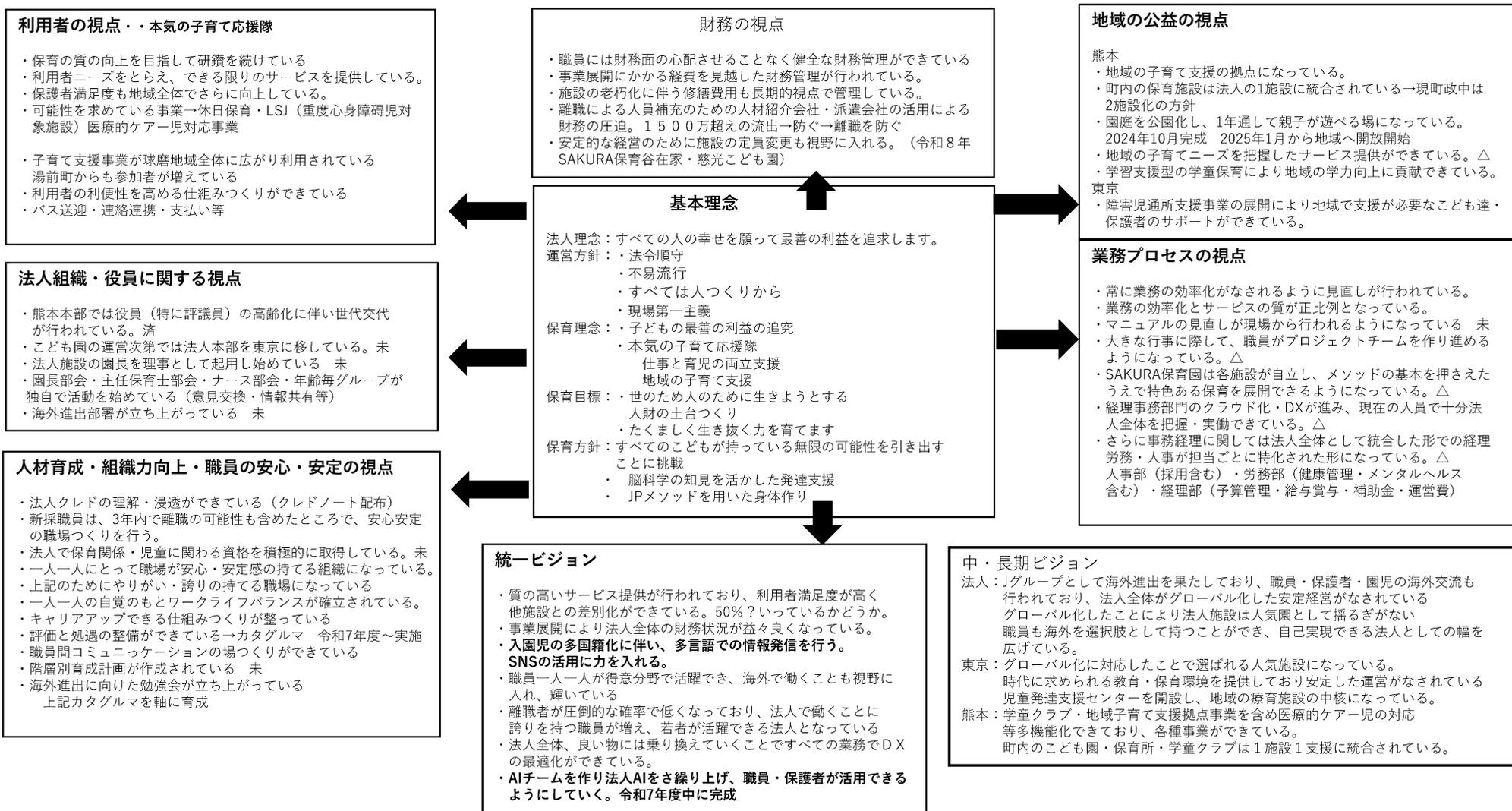
社会福祉法人慈光明徳会法令順守責任者は理事長  
法人の各事業所の責任者は、各事業所の長及び管理者とする。



JIKOU



社会福祉法人慈光明徳会 短期・中期ビジョン 2025年3月赤字・紫部分追加 未：未達成 済：完了 △：微妙



# SWOT分析シート 2025年4月更新

	機会 (Opportunities)	弱み (Weakness)
内部要因	<p><b>法人全体</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 園長等幹部の結束が固い</li> <li>・ 法人全体で比較的に安定的な運営ができています</li> <li>・ 法人間の助け合いの風土ができています</li> <li>・ 熊本、東京エリアとのリモートによる合同研修・会議ができています</li> <li>・ line・バーチャルオフィスを使った連携・連絡機能ができています</li> <li>・ 法人全体でクラウド・ICTを活用した情報共有（財務・経理事務・利用者処遇）ができています</li> <li>・ 若い職員はICT化による保育業務のペーパーレス化にすぐに対応できる。</li> </ul> <p><b>東京</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 運営費・補助金とすべてにおいて給付が潤沢である。熊本の1.5倍～2倍</li> <li>・ 障害児通所支援事業所の開設が年1施設可能となりにより多角的な運営の第一歩が踏めている R7 4事業所目運営実施 R7度中に1施設増</li> </ul> <p><b>熊本</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 法人理念が浸透している</li> <li>・ 慈光メソッドの浸透</li> <li>・ 地域子育て支援拠点事業の展開</li> <li>・ 補助事業・委託事業ができています</li> <li>・ 認定こども園・学童クラブ・子育て支援事業と多角的経営ができています</li> <li>・ 広域からの入園希望が多い（所得レベルの高い職業についての世帯・転勤族から）</li> <li>・ 園舎の設備が最高レベルである</li> <li>・ 教育内容に関して所得階層の高い世帯からの理解・指示が高い</li> <li>・ リモート研修が増え、交通費がかからずに研修受講ができるようになり研修受講が進んでいる</li> <li>・ 行事はプロジェクトチームを立ち上げ動き出している。自立までもう一歩</li> <li>・ 子育てサークルの人気上昇 予約がいっぱいで待ち状態 令和6年度は入園につながる成果を出す。</li> </ul>	<p><b>法人全体</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ こどももちろん定員割れの施設が増えてきた</li> <li>・ 変化に弱い傾向がある。ICT化に関しては小規模に置いて、進まない。</li> <li>・ 学ぶことの意義深さの理解は低い。</li> <li>・ 離職が多く採用コストがかかりすぎている。</li> <li>・ シフトを組むのは、どの施設（学童クラブも同じ）も大変（開園から閉所までの11時間～13時間の中での保育士定数確保）</li> </ul> <p><b>東京</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 園庭が無い</li> <li>・ 園舎が狭い</li> <li>・ 職員への法人理念・クレド・慈光メソッドの浸透がまだできていない。（小規模が目立つ）</li> <li>・ 離職者が多く採用コストがかかっている</li> <li>・ LSJ送迎中の事故が多く保険料が上がっていく</li> </ul> <p><b>熊本</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町の住民と法人の教育・子育てに対する関心度・考え方の温度差が大きすぎる</li> <li>・ 地域密着型とは言えない</li> <li>・ 教育的にセグメントされた家庭（所得も教育レベルも高い）からの入園・学童入所となっており、地元からの入園は少ない・煙たがられているかな？敬遠されている？</li> <li>・ 改築から11年目となり、設備の修繕が発生してきている。</li> </ul>
外部要因	<p><b>法人全体</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育業界に対して処遇改善が進んでいる。令和6年度人事院勧告による10.7%up</li> </ul> <p><b>東京</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 都のすくわく事業により1施設150万、保育材料費が申請で補助される、財源があるうちは続く施策全施設で申請できる。</li> <li>・ 足立区行政との連携がスムーズである。</li> <li>・ 区から保育現場への指導が頻繁である。</li> </ul> <p><b>熊本</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自然環境はNO1・園環境も最高</li> <li>・ 行政の理解が深く協力的である（補助事業・委託事業）</li> </ul>	<p><b>法人</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 支援が必要な園児が多くなっており、加配職員が不足しており現場は疲弊気味</li> <li>・ 待機児童が終息し、定員割れが起きてきた 小規模・こども園・SAKURA保育園谷在家100名定員に達したことがない。</li> </ul> <p><b>東京</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 足立区は水害の脅威あり</li> <li>・ 防犯上の危機管理が高レベルで必須 散歩すら危険である</li> <li>・ 待機児童が居なくなった際の園児獲得競争</li> <li>・ 豊島区：監査厳しい 足立区：しょっちゅう実地指導・検査に入る</li> <li>・ 足立区は定員割れが続出してきた。我が法人も令和8年度は定員減とする。6月に申請 100→90</li> <li>・ 小規模も年度当初は60%の入所率である。令和7年度西新井0歳児0スタート 閉鎖する施設も増えている</li> <li>・ 令和6年度はLSJは赤字、稼働率を上げるしかない。</li> </ul> <p><b>熊本</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 超少子化による園児数が激減しているが現町政での施設の統合は無い。</li> <li>・ 人材確保が難しい（そもそも地域に人がいない・働いていない人もいない）</li> <li>・ 地域の消滅が現実味を帯びている</li> <li>・ 行政区の財政事情は最悪である。自主財源である税込3億</li> <li>・ 教育委員会が教育の未来について考えていないためGIGAスクールも進まない</li> <li>・ 学童クラブに求める職員体制に関する制度が現場と乖離している</li> </ul>

**幼保連携型認定こども園 慈光こども園  
2025 年度事業計画**

社会福祉法人慈光明徳会

## 1. 基本情報

### (1) 所在地

熊本県球磨郡湯前町 1962-1

### (2) 保育理念

- ・子どもの最善の利益を追求し保障していきます。
- ・子育てと仕事の両立支援に徹します。
- ・地域の子育て支援を行います

### (3) 保育方針

命を守ることを第一義にあげ、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』に依拠し、安心・安全な環境のもと、以下のメソッドに基づいて教育・保育を行います。

- ・脳科学の知見を活かした適時性の保育・教育
- ・JPメソッドによる運動能力の向上
- ・体の中から生きる力をはぐくむ「食育」
- ・自然を通じた「五感教育」
- ・「躰教育」慈光こども園仕のきまり・・・人として正しい行いを学びます

上記、バランスの取れたプログラムにより、子どもの無限の可能性を引き出す環境の中で、変化する時代に対応できる「たくましく生き抜く力」を育みます

### (4) 保育目標

たくましく生き抜く力をはぐくみます

世のため人のために生きようとする人財になってほしい。  
そのために、自立した誇りある人としての土台をつくります。

## 2. 前年度振り返り・課題

### (1) 利用者数

	利用定員	利用者数 (期首)	利用者数 (期末)	利用者数 増減 (期首～期末)	空き定員	対前年比 (利用者数 (期末))
全体	40名	39名	49名	+10名	▲9名	▲7名
0歳児	4名	1名	8名	+7名	▲4名	+8名
1歳児	7名	7名	9名	+2名	▲2名	+9名
2歳児	5名	5名	6名	+1名	▲1名	+6名
3歳児	9名	11名	11名	0名	▲2名	+11名
4歳児	11名	11名	11名	0名	0名	+11名
5歳児	4名	4名	4名	0名	0名	+4名
0・1・2	0名	0名	0名	0名	0名	0名

歳児						
3・4・5 歳児	0名	0名	0名	0名	0名	0名

(2) 職員数

	人数 (期首)	人数 (期末)	離職数	新規採用数	(内新卒採用数)
全体	25名	28名	0名	3名	(0名)
園長	1名	1名	0名	0名	(0名)
副園長	1名	1名	0名	0名	(0名)
保育教諭	10名	11名	0名	1名	(0名)
保育補助	0名	0名	0名	0名	(0名)
調理員(栄養士・調理師含む)	2名	2名	0名	0名	(0名)
看護師	1名	1名	0名	0名	(0名)
事務員	0名	0名	0名	0名	(0名)
一時預かり職員	2名	2名	0名	0名	(0名)
子育て支援員	2名	2名	0名	0名	(0名)
学童指導員	6名	6名	0名	0名	(0名)
送迎バスドライバー	0名	2名	0名	2名	(0名)

(3) 自己評価結果

施設自己評価実施時期：2025年03月

自己評価結果 スコアランキング(大項目ごと)

ランク	項目	スコア	優先度
1	8. 健康支援	3.20	高
2	11. 環境・衛生管理	3.17	高
3	14. 家庭との連携(地域)	3.17	高
4	6. 1～3歳未満のねらいと内容	3.13	高
5	13. 家庭との連携(在園児)	3.13	高
6	9. 食育の推進	3.10	高
7	7. 3歳以上児のねらいと内容	3.06	高
8	1. 基本的理念と社会的責任	3.00	高
9	2. 保育の配慮事項	3.00	高
10	5. 乳児保育のねらいと内容	3.00	高

11	12. 災害対策	3.00	高
12	15. 職員の資質向上	3.00	高
13	16. 運営管理	3.00	高
14	3. 計画・評価・育ちの見通し	2.89	高
15	4. 特別支援・障がい児保育	2.88	高
16	10. 安全管理	2.88	高
17	17. 組織管理	2.86	高

#### 振り返り・課題

3・4・5歳児以上児合同クラス保育に関し、進め方において保育日誌の内容やケア記録、発達記録の指導に不十分課題に残る1年となった。

未経験の保育教諭の担任となり新年度細やかなカリキュラムを作り仕組み化していく。

#### (4) 前年度目標と振り返り

##### ① 保育活動

###### 目標

- ・命を守る教育
- ・子どもの無限の可能性を引き出す環境づくりをおこない徳知体のバランスの取れた成長発達を促す
- ・異年齢教育・保育、年齢別の教育・保育をバランスの取れた形で運用していくことで発達を保障していく
- ・継続は力なり。全ての活動において継続できる計画を立て実行する
- ・ワクワクタイムを継続してダンス・英語・日本の美しい言葉に触れる

#### 振り返り・課題

異年齢保育では3歳児・4歳児・5歳児以上児合同クラス・1・2歳児の合同クラスとした。慈光メソッドでは運動を軸とし、2歳児3歳児合同の体操・4歳児5歳児合同の体操に挑戦する。合同で実施することで個々の発達の差を踏まえながら闘争心や他児の動きを見て学ぶという合同の良さを運動能力を高めていく事につなげる事が出来た。フィジカルも体操の中で毎日継続し、4歳児の体操は後期で年長児の力も身に着け合同の取組の良い面を証明した。4歳児5歳児クラスの平仮名の取組に数字の取組が9月の年長児交流会で疎かになっていたことが分かり10月から天神の時間に数字プリントを入れる調整が必要だった。平仮名読み書きに関して3歳児は昨年度の楽しい遊びの中で平仮名が読めるようにの方法を伝授していたことを毎日継続し、好きな絵本を読む時間も給食の時間の後に確保しながら個人差はあれど絵本の拾い読みが出来る力を育てた。

新年度当初より新園児10名の増員となった。10月より0・1・2歳児合同クラスから0歳児・1歳児と年齢ごとに分かれこどもの発達を保障する。2歳児クラスは以上児クラス3歳児クラスと合同へ移行。朝のおやつや午後からは午睡時間等養護の面は確保することに配慮し個人の発達や特性に応じ無理が無いように心がける。以上児の流れに沿いながら進め名のこどもの成長発達を促すことを目的とした。

##### ② 人材育成

###### 目標

法人研修・カタグルマにより、高い視座を持てる職員を育成する

- ・SBT年3回
- ・階級別研修年5回、

- ・カタグルマによるマネージメント研修
- ・JPTCによるフィジカル研修 月1回
- ・法人年齢別・部署別研修 各部署年2回
- ・チーム力の強化 日々
- ・強みを生かしたキャリアアップの支援 随時
- ・コミュニケーション能力の向上 日々
- ・カタグルマによる園長のフィードバック 随時
- ・統括園著のMUGENムービーによる思考訓練 週5回アップされるline研修

#### 振り返り・課題

子どもへは仕の決まり職員へは法人の理念・教育保育理念・方針を軸に考えることを伝える。挨拶でもミラーニューロンとなるように先ずは大人がお手本となる姿を見せる事と伝える。何事でも素直・謙虚・感謝を持ちチームの力を発揮できるようにする。オンライン研修で質の高い研修を学びえる事に感謝をしながら研修内容を自分の中で日常的にそのように活かすのかを意識することが重要である。研修報告では研修を通し今後へ生かすことを明記しさらに今後への意欲と、研修での学びを活用しようとする姿勢が見られた。他の人への良い面を見ていくようにありがとうの木を作った。保護者、子ども達、職員巻き込んでありがとうの木を咲かせた。

### ③ 運営管理

#### 目標

園児数の減少による収入減を意識した運営に努める

- ・運営費の減少による経費削減の強化・・・ランニングコストを抑えていく
  - ・修繕箇所の増加による修繕費の予算増
  - ・命に直結する衛生管理・安全管理の維持強化
  - ・子育てサークルから入園への流れを作る
  - ・年2回、カタグルマによる保護者アンケート実施からの改善
  - ・労務管理のペーパーレス化
- 各種補助事業・委託事業の実施

#### 振り返り・課題

幹部職員においては必要に応じてスキルアップしているが、まだまだ不足であり学ばなくてはいけない。

園児数の減少による収入減により財務的には厳しい子ども園ではあるが今年には新園児9名の入園につなげることが出来た。

11月に園庭遊具が完成。町との連携を取り休日の地域開放で活用していただく。

### 3. 当年度目標と施策

#### (1) 当年度目標

##### ① 保育活動 全体

- ・命を守る教育
- ・子どもの無限の可能性を引き出す環境づくりをおこない徳知体のバランスの取れた成長発達を促す
- ・異年齢教育・保育、年齢別の教育・保育をバランスの取れた形で運用していくことで発達を保障していく
- ・継続は力なり。全ての活動において継続できる計画を立て実行する
- ・ワクワクタイムを継続してダンス・英語・日本の美しい言葉に触れる

① 保育活動 担当別

担当	目標
0 歳児	<p>愛着形成（笑顔の応答）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身体能力の向上（歩行）</li> <li>・絵本の読み聞かせ・わらべ歌あそび等言葉遊びを大切にする</li> <li>・離乳食の完成から幼児食へのスムーズな移。</li> <li>・英語のヒアリングでネイティブな発音により聴覚を刺激</li> <li>・災害時に命を守るためのプログラムを大切にしてい</li> </ul>
1 歳児	<p>基本的な生活習慣の確立へ向けて援助する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自我の芽生えを待つ保育で援助する</li> <li>・身体能力の向上（JP・リトミック）</li> <li>・模倣活動を見守る</li> <li>・言葉の発達を後押しする：自己表現能力を身につけて行く</li> <li>・食べる意欲を引き出す食育：自分で食べようとする</li> <li>・保育室との連携を行う</li> <li>・絵本の読み聞かせで本好きの子に育てる</li> <li>・わらべ歌あそび等で言語能力をあげる</li> <li>・なぐり書きで筆圧を付ける</li> <li>・英語のヒアリングでネイティブな発音により聴覚を刺激</li> <li>・災害時に命を守るためのプログラムを大切にしてい</li> </ul>
2 歳児	<p>基本的な生活習慣の確立・自立へ向けて援助する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自我の芽生えを育む</li> <li>・身体能力の向上（JP・リトミック）</li> <li>・絵本の読み聞かせ</li> <li>・わらべ歌あそび</li> <li>・自分で食事を摂る</li> <li>・会話が楽しめるように援助する</li> <li>・社会性を身に着けていく。：他児とのかかわり</li> <li>・短時間の集中力・自制心を育む</li> <li>・英語のヒアリングにより英語に親しむ</li> <li>・菜園活動を楽しむ。</li> <li>・保育室との連携を行う</li> <li>・災害時に命を守るためのプログラムを大切にしてい</li> </ul>
3 歳児	<p>徳知体のバランスの取れたカリキュラムを提供、以下のプログラムを実施する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身体能力の向上（JP）</li> <li>・緻密な手指の運動能力を獲得させる</li> <li>・読み書き数量に興味を示すよう働きかける ひらがなは読めるようになる</li> <li>・絵本の拾い読みをする</li> <li>・生活の中で数量に関わり関心を持つ</li> <li>・生活習慣が自立する</li> <li>・友達との関係を築く</li> <li>・のびのびとした表現活動に誘。</li> <li>・仕の決まりを知る</li> <li>・英語が身近なものになる</li> <li>・菜園活動を楽しむ。</li> <li>・食と体の関係を知る</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育室との連携を行う</li> <li>・災害時に自ら命を守る術を各種訓練を通して学ぶ</li> </ul>
4 歳児	<p>徳知体のバランスの取れたカリキュラムを提供し、以下のプログラムを実施する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身の回りのことはできるようになっている</li> <li>・身体能力の向上・調整運動の獲得（JP）</li> <li>・文字や数量の獲得</li> <li>・自分で絵本を読む</li> <li>・正しいひらがなを覚える</li> <li>・好きな絵本が読める</li> <li>・お当番活動ができる</li> <li>・ルールのある遊びができる</li> <li>・チームワークの基礎を育む</li> <li>・感情のコントロールできるようになる</li> <li>・仕の決まりを守ろうとする</li> <li>・英語が身近なものになる</li> <li>・菜園活動を楽しむ</li> <li>・食と体の関係を知る</li> <li>・保育室との連携を行う</li> <li>・災害時に自ら命を守る術を各種訓練を通して学ぶ</li> </ul>
5 歳児	<p>徳知体のバランスの取れたカリキュラムを提供し、以下のプログラムを実施する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身辺自立の完成</li> <li>・高いレベルでの運動能力を身に着ける（JP）</li> <li>・読み書き簡単な計算はできるようになる</li> <li>・正しい文字を習得する。</li> <li>・仕のきまりを理解し、周りにも伝えることができる</li> <li>・仲間との共同作業・仲間を応援することができる</li> <li>・ひも結びなどの緻密な作業もできるようになる</li> <li>・英語が身近なものになる</li> <li>・地域との交流をはかり地域の温かさに触れる</li> <li>・湯前保育園との交流事業をおこない、就学へとつなげる</li> <li>・小学校との接続期の連携体制を作り就学に繋げる</li> <li>・園のリーダーとしての自覚を持ち、お手伝い活動を楽しむ</li> <li>・菜園活動を楽しむ</li> <li>・食と体の関係を知る</li> <li>・保育室との連携を行う</li> <li>・災害時に自ら命を守る術を各種訓練を通して学ぶ</li> </ul>
0・1・2 歳児	<p>1・2 歳合同クラス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1 歳児と 2 歳児では発達の違いがあるため、それぞれのペースに合わせる</li> <li>・基本的な生活リズムを整える（食事・睡眠・排泄）</li> <li>・愛着形成を大切にし、信頼関係を築く</li> <li>・子どもが安心して探索できる環境を作る</li> </ul>
3・4・5 歳児	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉の発達・コミュニケーション力の育成</li> <li>・5 歳児がリーダーシップを学ぶ(教える事で理解が深まる)</li> <li>・3 歳児・4 歳児が年上の子の真似をして生活習慣が身につくルールを学ぶ</li> </ul>

・こども同士の関わりを通じて、社会性や思いやりの心を育てる
-------------------------------

## ② 人材育成

法人研修・カタグルマにより、高い視座を持てる職員を育成する

- ・ SBT 研修 6 回
- ・ 階級別研修年 3 回、職員研修 2 回
- ・ パート研修
- ・ JP メソッドによるフィジカル研修 月 1 回
- ・ 法人年齢別・部署別研修 各部署年 2 回
- ・ チーム力の強化 日々
- ・ 強みを生かしたキャリアアップの支援 随時
- ・ コミュニケーション能力の向上 日々
- ・ カタグルマによる園長のフィードバック 随時
- ・ 統括園著の MUGEN ムービーによる思考訓練

## ③ 運営管理

園児数の減少による収入減を意識した運営に努める

- ・ 運営費の減少による経費削減の強化・・・ランニングコストを抑えていく
  - ・ 修繕箇所の増加による修繕費の予算増
  - ・ 命に直結する衛生管理・安全管理の維持強化
  - ・ 子育てサークルから入園への流れを作る
  - ・ 年 2 回、カタグルマによる保護者アンケート実施からの改善
  - ・ 労務管理のペーパーレス化
- 各種補助事業・委託事業の実施

## (2) 実施施策

### ① 保育活動

#### 施策 1

年齢ごと

体操・運動遊び

ステップブック

キッズサイエンス

平仮名・カタカナを読む

習字

プログラミング

0 歳児：愛着形成（笑顔の応答）・・・保育者の応答的保育により愛着形成を図る。常に笑顔で接する。泣いたら応答する。仕方なく待たせる時は

「ちょっと待ってね」の言葉かけを忘れない。

- ・ 身体能力の向上（歩行）・・・保育室でのサーキットあそび・爬虫類運動・歩行開始後は園庭で遊ばせる・階段の昇降あそびを日課とする。
- ・ 絵本の読み聞かせ・わらべ歌あそび等言葉遊びを大切に・・・毎日の日課とする。
- ・ 離乳食の完成から幼児食へのスムーズな移行・・・個別対応にて家庭との連携のもと、幼児食へと導く・味になれない素材もある。無理はしない
- ・ 英語のヒアリング・・・パパッと英語の視聴を日課とする。
- ・ 非常訓練時の職員の動きの質を高める

#### 施策 2

年齢ごと

体操・運動遊び

ステップブック

キッズサイエンス

平仮名・カタカナを読む

習字

プログラミング

1歳児：基本的な生活習慣の確立へ向けて援助する・・・食事・排泄・睡眠・着脱・清潔・挨拶・模倣活動

・自我の芽生えを丁寧に援助する・・・自分でやりたい気持ちを受け入れ、待つ保育に徹する。バランスボールを使ったフィジカルトレーニング

・身体能力の向上・・・保育室でのサーキットあそび・園庭で遊の戸外遊び・散歩・指先を使う遊び・リトミック・模倣活動を見守る・・・真似してしたがるものを見守り援助することで喜びの感情を育む。

・言葉の発達を後押しする：自己表現能力を身に付けて行く・・・二語文三語文と発達していくおしゃべりにとことん付き合う。聞いてもらう喜びを

あじあわせる。

・食べる意欲を引き出す食育：自分で食べようとする・・・手づかみからスプーンへ無理なく移行し、給食の時間が大好きな子供にする。

好き嫌いも出てくるが、無理

に食べさせない。

・保育室前のプランターで菜園活動をおこなう

・絵本の読み聞かせ・わらべ歌あそび・・・豊かな言語に触れさせることで語彙力を高めていくとともに本好きのこどもに育てていく。

・なぐり書き・・・筆圧訓練として、殴り書きの時間を日課とするとともに自由に表現することの楽しさを味わう。職員は丸だね～。

何色だね～など表現活動を後押しする。

・英語のヒアリング・・・パパッと英語を視聴し、ネイティブな発音に触れるとともにリズムに乗って体を動かす楽しさを味合わせる。

・非常訓練時の職員の動きの質を高める

### 施策3

コミュニケーション能力を育む

共同遊び

異年齢遊び

ごっこ遊び

ルールのある遊び

2歳児：基本的な生活習慣の確立へ向けて援助する・・・食事・排泄・睡眠・着脱・清潔・挨拶・お手伝い（模倣活動）

・自我の芽生えを育む・・・自己主張を受け入れ、共感していく。

・身体能力の向上・・・保育室でのサーキット・爬虫類運動・動物歩き・散歩・戸外遊び・指先を使う遊び・バランスボールを使った

フィジカルトレーニング・リトミック

・絵本の読み聞かせ・わらべ歌あそび・・・豊かな言語の振れ、語彙力を高めるとともに本好きのこどもにしていく。

・自分で食事を摂る・・・スプーン・箸を使って自分の力で完食することを喜ばせるように援助する。嫌いなものも1口でも挑戦しようとする

気持ちを言葉かけで育てていく。

・保育室前のプランターで菜園活動をおこなう

・会話が楽しめるように援助する・・・会話ができるようになるため、しっかり聞いてあげる。子供同士の会話も後足する。

・社会性を身に付けていく：他児とのかかわり・・・会話ができるようになり、自我も発

達し、トラブルも出てくるが、年齢相応と冷静に対応

していく。

・短時間の集中力・自制心を育む・・・活動に着座で集中できる遊びを取り入れ、一定の時間遊べるように仕向けていく。

楽しい活層を準備していく。（難しすぎず簡単すぎず）

ぎず）

・英語のヒアリング・・・パパッと英語を視聴し、ネイティブな発音に触れるとともにリズムに乗って体を動かす楽しさを味合わせる。

・非常訓練時の職員の動きの質を高める

#### 施策 4

表現活動

絵画制作

音楽(歌・ダンス)

3歳児：徳知体のバランスの取れたカリキュラムを提供、以下のプログラムを実施する

・身体能力の向上・・・毎日の体操・外遊び・ダンス・バランスボールを使ったフィジカルトレーニング・JPメソッド

・緻密な手指の運動能力を獲得させる・・・ハサミあそび・糊あそび等、指先を使う遊び

・読み書き数量に興味を示すよう働きかける ひらがなは読めるようになる・・・遊びの中でひらがなが読めるようにする。毎日一文字で50日

夏場水

に浮くカードで遊ぶ、生活の中で数に触れる・数層100まで

・絵本の拾い読みをする・・・簡単な絵本を準備しておく。0・1・2等

・生活の中で数量に関わり関心を持つ・・・日常生活の中で数を意識させていく。これはいくつ？何人？等々身近なもので数遊びをしていく

・生活習慣が自立する・・・食事・排泄・睡眠・着脱・清潔・挨拶・お手伝いは自立

・保健指導を通して、自分の身体に関心を持つ

・友達との関係を築く・・・トラブルもチャンスととらえ、保育者を仲介として解決法を学ばせていく

・のびのびとした表現活動に誘う・・・園長先生の絵画教室をはじめ自由な表現活動を取り入れる。

・仕の決まりを知る・・・毎日唱和

・ワクワクタイムを楽しむ・・・ダンス・英語・季節の歌を楽しみ、ことわざや詩を唱和することで日本語の美しさ・豊かさに触れる

・英語が身近なものになる・・・パパッと英語を日課とすることでリズム遊びを兼ねたネイティブな発音を身に付けていく。

・お当番活動を楽しむ

・保育室前のプランターで菜園活動をおこなう

・三大栄養素を学ぶ

・各種訓練（非常訓練・交通指導）により自らの命の守り方を学ぶ

#### 施策 5

ルールを守る

仕の決まり

徳知体のバランスの取れたカリキュラムを提供し以下のプログラムを実施する。

4歳児：徳知体のバランスの取れたカリキュラムを提供し、以下のプログラムを実施する

・身体能力の向上・調整運動の獲得・・・毎日の体操・跳び箱・ダンス・外遊び・バランスボールを使ったフィジカルトレーニング JPメソッド

・文字や数量の獲得・・・ひらがなが書けるようになり、カタカナが読め書けるようにな

- る。200 までの数唱ができる。日常生活の中で数・量の概念に触れる経験をする。
- ・自分で好きな絵本を読む・・・絵本をいつでも見ることのできる環境を作る
  - ・正しいひらがなが書ける・・・習字の時間に習得する
  - ・お当番活動ができる・・・エプロン等の着衣も自分で行えるようになっていき、給食の手伝いができ、朝礼活動も喜んで行う
  - ・身の回りのことはできるようになっている・・・基本的な生活習慣は完成する。
  - ・保健指導を通して、自分の身体に関心を持つ
  - ・ルールのある遊びができる
  - ・チームワークの基礎を育む・・・友達と考えながら行動を共にできるようになる。
  - ・感情のコントロールができるようになる・・・我慢する心を育てる。
  - ・什の決まりを守ろうとする・・・毎日唱和する。
  - ・英語が身近なものになる・・・パパッと英語を日課とすることでリズム遊びを兼ねたネイティブな発音を身に付けていく。
  - ・ワクワクタイムを楽しむ・・・ダンス・英語・季節の歌を楽しみ、ことわざや詩を唱和することで日本語の美しさ・豊かさに触れる
  - ・保育室前のプランターで菜園活動をおこなう
  - ・三大栄養素を学ぶ
  - ・各種訓練（非常訓練・交通指導）により自らの命の守り方を学ぶ

## 施策 6

- 5 歳児：徳知体のバランスの取れたカリキュラムを提供し、以下のプログラムを実施する。
- ・高いレベルでの運動能力を身に着ける・・・毎日の体操・跳び箱・ダンス・外遊び・バランスボールを使ったフィジカルトレーニング・JP メソッド・
  - ・読み書き簡単な計算はできるようになる・・・生活点検表や観察日誌等を毎日書く。プリント学習により簡単な計算や数量・空間認識が見についていく。
  - ・正しい文字を習得する・・・習字の時間に習得する。
  - ・什のきまりを理解し、周りにも伝えることができる・・・毎日の唱和と・意味を理解することで身に付く決まりも出てくる。
  - ・仲間との共同作業・仲間を応援することができる・・・相手の気持ちを察することができるようになっていき、協力しながら一緒に作業ができるようになる。がんばる友達を応援しようとする気持ちも自然発生してくる。。
  - ・身辺自立の完成・・・生活習慣は園では身につけている。
  - ・ひも結びなどの緻密な作業もできるようになる・・・エプロン結びや靴ひも結びができるようになる。折り紙等も緻密におこなうことができるようになる。
  - ・英語が身近なものになる・・・パパッと英語を日課とすることでリズム遊びを兼ねたネイティブな発音を身に付けていく。
  - ・地域との交流をはかる・・・地域のイベントに参加する
  - ・小学校との接続期の連携体制を作る・・・幼保小中連携により、スムーズな接続期を過ごす。
  - ・ワクワクタイムを楽しむ・・・ダンス・英語・季節の歌を楽しみ、ことわざや詩を唱和することで日本語の美しさ・豊かさに触れる。
  - ・保育室前のプランターで菜園活動をおこなう
  - ・三大栄養素を学ぶ
  - ・保健指導を通して、自分の身体に関心を持つ。
  - ・各種訓練（非常訓練・交通指導）により自らの命の守り方を学ぶ

## 施策 7

年間行事：別紙参照

## 施策 8

保護者との連携（対応）・・・本気の子育て応援隊として覚悟・志を持ち、徹底的に保護者に寄り添い、仕事と育児の両立支援をおこなう。

キッズリー・朝夕の会話を大切にしていく。必要に応じて個別面談を行う。

年1～2回の保護者アンケートにより保護者ニーズをくみ取り改善していく。

## ② 人材育成

### 施策 1

- ・ SBT 研修
- ・ 階級別研修年3回、職員研修2回
- ・ パート研修
- ・ JPTCによるフィジカル研修 月1回
- ・ 法人年齢別・部署別研修 各部署年2回
- ・ チーム力の強化 日々
- ・ 強みを生かしたキャリアアップの支援 随時
- ・ コミュニケーション能力の向上

### 施策 2

階級別研修 園長・主幹・中堅研修を年間通して実施 役割を認識する。  
学んだ事を即実行継続できるように園長はフォローしていく。

### 施策 3

カタグルマによるマネージメント研修

園長対象に事業計の作り方、人材育成の方法を学ぶ。（マネージメントスケジュールの作成）

具体的に実現可能な施策を実現し、実行していく。

### 施策 4

JPTCによるフィジカル研修

毎月1回講師を招き実施。バランスボールを使ったフィジカルトレーニング希望参加。  
学んだ事はこども達にアウトプットしていく。

### 施策 5

法人年齢別・部署別研修 各部署

SAKURA 保育園千川・谷在家と年齢ごとに zoom による情報交換会を行う。

地域性や園規模による差を超えてこども達の最善の利益となるノウハウを出し合い検証する。

### 施策 6

強みを生かしたキャリアアップの支援

大きな行事は新にプロジェクトチームを作りチームを中心に全職員を巻き込んで取り組んでいく。具体的な計画が求められる。

1人はみんなのために みんなは一人のために職員自ら体現していく。

## 施策 7

強みを生かしたキャリアアップの支援

保育界のキャリアアップの研修のみならず、自分自身の強みを生かしたキャリアを目指すものには支援していく。

## 施策 8

コミュニケーション

SBT 研修の学びを活用してスムーズな人間関係を構築する。

報告・連絡・相談にスピード感を持って怠らない組織を作る。

## ③ 運営管理

### 施策 1

園児数の減少による収入減を意識した運営に努める。

全職員が財務の悪化を意識し、業務の効率化、働き方(残業なし)を含め効率化を目指していく。節約できるものは節約する習慣付けをする。

### 施策 2

子育てサークルからの入園児への流れを模索する・・・1人でも入園につなげる。

誰でも参加しやすいシステムを構築しなおす。

広報活動を通して認知度を上げる

### 施策 3

運営費の減少による経費削減の強化

購入の際も安価で購入できる業者の選定をしていく。

### 施策 4

毎年行っている保守管理(ワックスかけ・外壁掃除)に加え、修繕箇所が見つかったら、早めの修繕に心がけ費用を最小限に抑えることができる様皆が意識していく。早め修繕を心がけ費用を最小限に抑えるように皆が意識していく。

### 施策 5

ナース業務

命に直結する衛生管理/安全管理の維持強化現在の最高レベルを維持していく。

園児に保健指導を実施することで身体に関心を持つように仕向ける。病児保育時児のケアの充実

### 施策 6

労務管理等のペーパーレス化

休暇申請・出退勤確認さらには保護者の提出書類の全てをペーパーレス化にする。職員がスマートフォンを使って申請できるようにしていく。

### 施策 7

補助事業

放課後児童健全育成事業 1 支援事業 病児保育事業 体調不良児対応 延長保育事業  
保育体制強化事業 保育等地域活動事業

### 施策 8

地域子育て支援拠点事業フォーリーブス

一時預り事業 幼稚園型・一般型

### 施策 9

放課後児童健全育成事業  
 すららを用いた学力の向上・個別最適化  
 天神英語の活用により天神英語の可能性をさぐる  
 豊富な蔵書環境を作り、読書量を増やし本すきの児童を育成する

委託事業：地域子育て支援拠点事業

委託事業：一時預かり事業

補助事業：病児保育事業

年間保育日数（月ごと）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
日	25	24	25	26	25	24	26	23	26	23	22	25

合計 294 日

年間利用者数（月ごと）推定

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
日	51	51	51	51	51	51	51	51	51	51	51	51

職員数の推移（月ごと）推定

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
日	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27

年間行事予定（添付）

令和6年度 放課後児童健全育成事業  
慈光学童クラブ計画

目 的

落ち着いた環境の中で放課後の安心・安全な生活の場を保障し、さらに、学習支援を行うことで児童の健全な育成を図る

学童クラブの理念

球磨郡から世界へ羽ばたく児童の育成

学童クラブの目標

- ・挨拶の徹底
- ・自主性を養う
- ・読書週間を身に着ける
- ・思いやりの気持ちを育てる
- ・いろいろな人がいることを理解する
- ・集団や公共のマナー・ルールを身につける
- ・自分思いや気持ちを表現することができるようになる。

育成方針

不易流行

- ・基礎学力の充実（プリント学習・各種検定試験）
- ・自学自習の習慣化
- ・仕のきまりの徹底
- ・PC・タブレットによる e-learning 学習「すらら」「天神英語」

学習支援

e-learning すらら（国語・算数）をメインに、読解力を養う「論理エンジン」その他のプリント学習を用い、個別最適化をめざす。

生 活

来所後、学習を終えた児童が発達段階に応じた主体的な遊びや生活が出来るようにする。タブレットは時間を設けて使用を許可。室内での製作活動や本に親しめるよう環境を作る。

長期休暇

- ・規則正しい生活・学習プログラム

- ・ B&G を活用したプール遊び
- ・ 館外学習
- ・ 菜園作り
- ・ 清掃活動
- ・ 夏祭り
- ・ キッズセミナー
- ・ クリスマス会
- ・ 初詣
- ・ こども園との交流活動

### 障害児保育

放課後等デイサービスを利用している児童の支援を行う。個々の特質に合わせながらコミュニケーション能力を高め基礎学力の向上を図る。子ども達同士、共に成長出来るように支援する。株式会社常笑と連携・協力する。

### 災害時対策

非常訓練実施 年 2 回  
不審者訓練 年 2 回

### 職員研修・育成

法人職員研修・SBT 研修・MUGEN MOVIE  
学童支援員資格取得

### 児童数・開設日数・職員体制

支援	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
学童クラブ	3	9	6	9	8	5	40

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
25	24	25	26	25	24	26	23	24	23	22	25	292 日
3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	職員数

育成計画書・・・別紙添付

令和7年度 慈光学童クラブ 育成支援計画

学期	1学期	夏休み・2学期	3学期	
ねらい	1学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後、安全に学童に帰ってくる</li> <li>・困ったことがあったときには周りに知らせる</li> <li>・学童での遊びを楽しみながら友達作りをする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学童での一日を規則正しく過ごす</li> <li>・自分の言葉で伝えることが出来る</li> <li>・色々な遊びに挑戦し学童の生活を楽しむ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学童の生活に慣れ安心して過ごす</li> <li>・揉め事の時など相手の話も聞くことが出来る</li> <li>・仲間と仲良く過ごす楽しさを感じる</li> </ul>
	2学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身のまわりのことに関心を持って生活する</li> <li>・困っている友達に気づく</li> <li>・友達の輪を広げ新入児の手助けをする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ルールを理解して安全に過ごす</li> <li>・周りの様子や状況を理解する</li> <li>・班行動や行事を通じて協力の気持ちを持つ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見通しを持って生活する</li> <li>・良い行動か悪い行動かを考える</li> <li>・進級することを意識しながら行動する</li> </ul>
	3・4学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な社会の出来事に興味や関心を持って生活する</li> <li>・周りの状況に気づき話し合いで解決しようとする</li> <li>・班活動などで中心となって動く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な体験を通じてルールを守ることの大切さがわかる</li> <li>・自分のとるべき態度や立場について考える</li> <li>・集団生活の中で役割を持って活動する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全に気をつけながら行動範囲を広げる</li> <li>・客観的に状況を説明したり判断ができる</li> <li>・高学年への憧れを持ちながら成長する</li> </ul>
	5・6学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後の居場所として自分なりの過ごし方ができる</li> <li>・学童のなかの課題について発言する</li> <li>・集団のリーダーとして自覚を持って仲間作りをする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちでルールを作り仲間集団を導いていく</li> <li>・いろいろな意見を尊重しながら、全体をまとめる</li> <li>・自分たちで行事の企画や運営を考える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会のルールを理解し自己管理ができる</li> <li>・上級生の自覚をもって仲間作りの助言ができる</li> <li>・卒所に向けて自立して生活が送れるようにする</li> </ul>
	支援員の配慮	1学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学童クラブに通うことについて家庭や学校と情報交換し連携する</li> <li>・ほっとできる雰囲気を作り安心して甘えられる</li> <li>・支援員が遊び相手になったりしながら、仲間づくりを支援する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども一人ひとりの心身の状態を把握する</li> <li>・子どもが十分伝えきれていない内面も読み取る</li> <li>・新しい遊びを紹介したり誘ったりして遊びの選択肢が増えるよう支援する</li> </ul>
2学年		<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの興味や関心に対して、わかりやすい言葉で説明し理解を助ける</li> <li>・子ども同士がお互いに関心を持ち合うよう支援する</li> <li>・学童の先輩になったことを実感し、優しい気持ちで新入生に接することができるよう支援する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら安全を守るための行動について意識を高め</li> <li>・子ども一人ひとりのクラブでの生活状況を把握し子ども同士の関係づくりができるよう心掛ける</li> <li>・昨年の経験をいかして、より工夫した活動が出来るよう支援する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学童クラブに通うことについて、その必要性を子どもが理解できるように援助する</li> <li>・お互いの考えの違いについて子ども同士が気づけるようにする</li> <li>・仲間と遊んだり活動したりすることに喜びを感じるように支援する</li> </ul>
3・4学年		<ul style="list-style-type: none"> <li>・大人に対する見方や他者への意識や感情の特徴を理解して接する</li> <li>・子どもが支援員に何でも相談できるような信頼関係を築く</li> <li>・異年齢同士の生活の中で、力を合わせて活動しようという気意欲育てられるよう支援する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・静養や気分転換が必要な時には適切に対応する</li> <li>・葛藤の調整や感情の高ぶりを和らげることができるよう適切に対応する</li> <li>・よりよい方法や必要とする情報を提供し、自主性を持って取り組めるよう支援する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動を共にすることによって、子ども同士がより良い仲間づくりが出来るよう支援する</li> <li>・言動や行動の真意をくみ取りながら、一人ひとりが認められていることを実感できるように配慮する</li> </ul>
5・6学年		<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体的発育と心理的な変化について理解し適切な対応をする</li> <li>・子どもの成長・発達や関係性を考慮しながら、それぞれの子どもの意見を尊重する</li> <li>・これまでの生活の積み重ねを自信とし、自治的な能力が発揮されるよう支援する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが自ら決定する権利を尊重し、主体的に学童生活が送れるよう支援する</li> <li>・主体的にかかわることで得られる達成感と喜びを感じられるように見守る</li> <li>・高学年の会議などを取り入れ、行事や活動に対する参加の仕方について話し合いを位置づける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりを大切にしながら集団生活を豊かにできるように心掛ける</li> <li>・学童の生活の中で学んだことを下級生に伝えられるよう、振り返りを大切にしながら過ごさせる</li> <li>・大人は年長者として子どもにとってのモデルとなる存在であることを忘れないで接する</li> </ul>

# SAKURA 保育園竹の塚 2025 年度事業計画

社会福祉法人慈光明徳会

## 1. 基本情報

### (1) 所在地

足立区竹の塚 1-12-11

### (2) 保育理念

- ・子どもの最善の利益を追求し保障していきます。
- ・子育てと仕事の両立支援に徹します。
- ・地域の子育て支援を行います。

### (3) 保育方針

- ・子ども一人一人をあるがまま受け止め子どもの心に寄り添い応答的保育に努めます
- ・子どもの健やかな成長を願い一人一人の健康状態を把握しきめ細かに対応します
- ・子どもが本来持っている「自ら伸びようとする力」を信頼し意欲を育てます
- ・自らの感性を豊かにみがき子どもの内的な声をよく見て、よく聴き共感します
- ・子どもが楽しかった、嬉しかったと思えるような好奇心いっぱい遊びたくなる環境を工夫します
- ・体と心の栄養になるよう安全でおいしい手作り給食を提供いたします
- ・保護者と共に子どもの成長や発達を喜び合い協力して子育てを支え、保育の専門性を活かすその援助にあたるようにします

### (4) 保育目標

基本的な生活習慣を身につけ、情緒の安定した子どもを育てる

## 2. 前年度振り返り・課題

### (1) 利用者数

	利用定員	利用者数 (期首)	利用者数 (期末)	利用者数 増減 (期首～期末)	空き定員	対前年比 (利用者数 (期末))
全体	19名	15名	19名	+4名	0名	+19名
0歳児	6名	2名	6名	+4名	0名	+6名
1歳児	6名	6名	8名	+2名	▲2名	+8名
2歳児	7名	7名	5名	▲2名	+2名	+5名

### (2) 職員数

	人数 (期首)	人数 (期末)	離職数	新規採用数	(内新卒採用数)
全体	1名	2名	2名	3名	(0名)
保育士	0名	0名	2名	3名	(0名)
保育補助	0名	1名	0名	0名	(0名)
調理員(栄養士・調理師含む)	1名	1名	0名	0名	(0名)
看護師	0名	0名	0名	0名	(0名)

### (3) 自己評価結果

施設自己評価実施時期：2025年03月

自己評価結果 スコアランキング(大項目ごと)

ランク	項目	スコア	優先度
1	2. 保育の配慮事項	4.00	中
2	5. 乳児保育のねらいと内容	4.00	中
3	8. 健康支援	4.00	中
4	11. 環境・衛生管理	4.00	中
5	12. 災害対策	4.00	高
6	13. 家庭との連携（在園児）	4.00	中
7	1. 基本的理念と社会的責任	3.80	高
8	3. 計画・評価・育ちの見通し	3.80	低
9	9. 食育の推進	3.80	低
10	6. 1～3歳未満のねらいと内容	3.60	中
11	10. 安全管理	3.60	高
12	15. 職員の資質向上	3.40	低
13	14. 家庭との連携（地域）	3.33	低
14	4. 特別支援・障がい児保育	1.00	中
15	7. 3歳以上児のねらいと内容	1.00	中

#### 振り返り・課題

### (4) 前年度目標と振り返り

#### ① 保育活動

##### 目標

- ・ 基本的な生活習慣を身につけ情緒の安定した子どもを育てる

##### 振り返り・課題

子どもたちが安全に過ごせるように環境設定を行い、興味・関心が高まるような準備ができた

言葉を覚える大事な時期のためゆっくり穏やかな言葉かけを行った

戸外遊びには四季を感じるあそびを取り入れて自然にふれ情緒豊かに育つよう務めた

#### ② 人材育成

##### 目標

- ・ 職員の人材育成に力を入れ法人研修・園外研修・園内研修を充実させ保育の質向上を図る
- ・ 働き方の希望を反映した勤務体制をつくり適所適材を見極め個々の職員の働き方を尊重する

### 振り返り・課題

職員が個々の学びの機会を研修等で用意したが、急な職員の退職が続き職員の不足に研修への参加が負担になることが多くあり育成には繋がらない事態となった。

職員の不足を補うために時間に制限のある非常勤職員で補充してきた為書類等の負担が正規職員に重く課せられてしまったという要因がある。正規職員の増員が課題となった

## ③ 運営管理

### 目標

- ・国・東京都・足立区の今後の保育の動向を職員、保護者に速やかに伝えるとともに知恵を出し合い地域における小規模保育事業所の役割を考えていく
- ・法人本部、系列園との連携をとり、人事交流、情報交換を行いながら法人の事業全体に寄与する
- ・保護者が安心して働けるよう衛生的で安心・安全な環境を整え開かれた保育園づくりを心がけて地域に貢献できるようにする

### 振り返り・課題

地域のニーズに応じ児童定員数の変更を行うことで安定した児童数の確保ができた。今後も柔軟に対応していきたい。

園長会議では園児管理システムや危機管理等の情報交換を行うことができた。各園の困りごとや課題も相談できた。

保育室や玩具の衛生管理を徹底したことで感染症予防に繋がり保護者が安心して働けるよう配慮できた。

## 3. 当年度目標と施策

### (1) 当年度目標

#### ① 保育活動 全体

- ・基本的な生活習慣を身につけ情緒の安定した子どもを育てる
- ・運動機能の発達を促す

#### ① 保育活動 担当別

担当	目標
0 歳児	<ul style="list-style-type: none"><li>・保健的で安全な環境を整え一人一人の生活リズムを大切に、食欲・睡眠・排泄などの生理的欲求を満たす</li><li>・特定の保育者との親密な関わりを通して欲求を満たし安定した信頼関係を築く</li><li>・自然や身の回りの生活用品、玩具などを見たり、触ったり、聞いたりできる豊かな環境の中で感覚や運動的な遊びを楽しむ</li></ul>
1 歳児	<ul style="list-style-type: none"><li>・歩行が安定し、安全で活動しやすい環境の中で自分なりに活動範囲を広げる</li><li>・保育者と関わる中で徐々に言葉を覚え欲求や自分の気持ちを簡単な言葉で伝えようとする</li></ul>
2 歳児	<ul style="list-style-type: none"><li>・保育者に見守られ簡単な身の回りのことを自分でできるようにする</li><li>・遊具や固定遊具を使い運動遊びを通して体幹を鍛える</li><li>・生活の中で物の名前や数、色、形などを理解して言葉で伝えたり保育者や友だちと言葉のやり取りを楽しむ</li></ul>

#### ② 人材育成

- ・ 職員の人材育成に力を入れ法人研修・園外研修・園内研修を充実させ保育の質向上を図る
- ・ 働き方の希望を反映した勤務体制をつくり適所適材を見極め個々の職員の働き方を尊重する
- ・ 常に向上心・探究心を持ち、学ぶ姿勢を大切にする

### ③ 運営管理

- ・ 国・東京都・足立区の今後の保育の動向を職員、保護者に速やかに伝えるとともに知恵を出し合い地域における小規模保育事業所の役割を考えていく
- ・ 法人本部、系列園との連携をとり、人事交流、情報交換を行いながら法人の事業全体に寄与する
- ・ 保護者が安心して働けるよう衛生的で安心・安全な環境を整え開かれた保育園づくりを心がけて地域に貢献できるようにする
- ・ 園内の点検を行い保育環境を整えるべく速やかに補修する
- ・ 安全で衛生的な施設管理を行う
- ・ 職員の安定

## (2) 実施施策

### ① 保育活動

#### 施策 1

- 生理的欲求を満たし生活する
- 安全で衛生的な環境を整える
- 特定の保育者とのスキンシップをとおして愛着形成を育む
- 個々の子どもに寄り添い、気持ちを受け止め、主体的に取り組める環境設定をする

#### 施策 2

- 保育所保育指針、足立区のガイドラインを活用し、保育の質を一層高めながら、子どもの最善の利益の追求と保証をする
- 食育活動を通して「しっかり食べる子」を育てる

#### 施策 3

- すくわくプログラムを活用し乳幼児の成長・発達・保育の充実を図る
- 室内でも行える運動遊びを積極的に取り入れ年齢及び月齢に合った

### ② 人材育成

#### 施策 1

- 法人理念・クレドを伝え職員一人一人の学びを援助する
- 研修にはできるだけ参加できるように保育士の配置に配慮する

#### 施策 2

- カタグルマを活用した職員育成に努める

#### 施策 3

- 職員会議等で積極的な意見交換の場を設ける

### ③ 運営管理

#### 施策 1

- 安全管理・衛生管理を職員で共通認識し環境設定をする

#### 施策 2

地域のニーズに合った園児定員数の変更を柔軟に行い園児獲得に努める

### 施策3

運営管理には園児管理システム・スマイル・カタグルマを活用しペーパーレス化を進める

#### 年間保育日数 292 日（月ごと）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
日	25	24	25	26	25	24	26	23	24	23	22	25

#### 年間利用者数（月ごと）推定

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
日	17	17	18	19	19	19	19	19	19	19	19	19

#### 職員数の推移（月ごと）推定

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
日	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9

#### 年間行事予定（添付）

- 4月 入園式・進級式、
- 5月 こどもの日の会、
- 6月 ミニ遠足 春の乳児健診
- 7月 七夕の会、水遊び
- 8月 夏祭り 水遊び
- 9月 引き取り訓練
- 10月 運動会ごっこ ハロウィン
- 11月 七五三 秋の乳児健診
- 12月 クリスマス会 保護者会
- 1月 お正月遊びの会
- 2月 節分の会 個人面談
- 3月 ひなまつりの会 おわかれ会

月例行事 お誕生会・身体計測・避難訓練

# SAKURA 保育園西新井 2025 年度事業計画

社会福祉法人慈光明徳会

## 1. 基本情報

### (1) 所在地

東京都足立区関原 3-43-4 細川ビル1階

### (2) 保育理念

- ・子どもの最善の利益を追求し保障していきます。
- ・子育てと仕事の両立支援に徹します。
- ・地域の子育て支援を行います。

### (3) 保育方針

- ・子ども一人一人をあるがままに受け止め、子どもの心に寄り添い応答的保育に努めます。
- ・子どもの健やかな成長を願い、一人一人の健康状態を把握し、きめ細やかに対応します。
- ・子どもが本来持っている「自ら伸びようとする力」を信頼し、意欲を育てます。
- ・自らの感性を豊かにみがき、子どもの内的な声をよく見て、よく聴き、共感します。
- ・子どもが楽しかった、嬉しかったと思えるような、好奇心いっぱい遊びたい環境を工夫します。
- ・体と心の栄養になるよう、安全でおいしい手作りの給食を作ります。
- ・保護者と共に子どもの成長や発達を喜び合い、協力して子育てを支え、保育の専門性を活かし、その援助に当たるようにします。

### (4) 保育目標

基本的な生活習慣を身に着け、情緒の安定した子どもを育てる。

## 2. 前年度振り返り・課題

### (1) 利用者数

	利用定員	利用者数 (期首)	利用者数 (期末)	利用者数 増減 (期首～期末)	空き定員	対前年比 (利用者数 (期末))
全体	17名	17名	16名	▲1名	+1名	+16名
0歳児	5名	5名	5名	0名	0名	+5名

1 歳児	6 名	6 名	6 名	0 名	0 名	+6 名
2 歳児	6 名	6 名	5 名	▲1 名	+1 名	+5 名

## (2) 職員数

	人数 (期首)	人数 (期末)	離職数	新規採用数	(内新卒採用数)
全体	9 名	9 名	2 名	2 名	(0 名)
保育士	5 名	4 名	2 名	1 名	(0 名)
保育補助	2 名	3 名	0 名	1 名	(0 名)
調理員（栄養士・調理師含む）	1 名	1 名	0 名	0 名	(0 名)
看護師	1 名	1 名	0 名	0 名	(0 名)
事務員	0 名	0 名	0 名	0 名	(0 名)

## (3) 自己評価結果

今年度の施設自己評価の実施はありませんでした

## (4) 前年度目標と振り返り

### ① 保育活動

#### 目標

子どもたちが情緒の安定した時間を過ごせるよう、しっかり子どもの気持ちを受け止め、寄り添い、物的・人的環境を整えていきます。

ECC を引き続き取り入れ、英語の歌やリズム体操を通して楽しく英語に触れ、発達段階に応じた保育を目指します。

#### 振り返り・課題

新入園児はできるだけ担任と 1 対 1 で関わり安心感が持てるようにしていった。又、進級児も環境の変化に敏感な子どもがいるので、新年度が始まる前から部屋を変えたりしながら少しずつ慣れるようにしていった。

## ② 人材育成

### 目標

職員の育成には特に力を入れ、園内研修、園外研修を充実させて、保育士としての責任感を持ち、実践的な保育の質の向上を図り、自身のスキルアップを元に子どもの成長発達に寄与していきます。

### 振り返り・課題

年度初めは職員が退職したりで園外研修に行けなかった。園内研修は参加した。中頃から職員が入職し安定したので園外研修にも参加できたので良かった。キャリアアップ研修も積極的に受けるよう話していった。

研修を受けるだけでなく保育に活かしてもらいたいと思う。

## ③ 運営管理

### 目標

保護者の子育てと仕事の両立を支援していくために標準時間、土曜保育に対応し、子どもの最善の利益の追求と保障、子育てと仕事の両立支援に徹します。

前年度より手ぶら登園を導入し持ち物を軽減したことで、喜びの声が多かった為今年度も導入する。

### 振り返り・課題

手ぶら登園は、前年度利用する保護者が減ってきて、年明けには4名になってしまった。次年度には卒園や転園などで2名になってしまう。その為、次年度は導入をやめることにした。毎年、考えていく問題だと思う。

## 3. 当年度目標と施策

### (1) 当年度目標

#### ① 保育活動 全体

- ・子どもたちが情緒の安定過ごせるよう、しっかり子どもの気持ちを受け止め、寄り添い、物的、人的環境を整えていきます。
- ・四季折々の自然を五感で感じる、育てる。(視覚、聴覚、嗅覚、味覚、触覚)
- ・ECCのパパッと英語を引き続き取り入れ、英語の歌やリトミック体操を通して楽しく英語に触れ、発達段階に応じた保育を目指します。
- ・個々の発達段階、家庭環境に合わせLSJ梅田と専門的指導の共有を図り、安全の確保と健全な発達のため見守り配慮していきます。

### ① 保育活動 担当別

担当	目標
0 歳児	<ul style="list-style-type: none"><li>・安全・安心な環境の中で、一人ひとりの子どもの生活リズムを大切に、心地よく過ごせるようにする。</li><li>・保育者が優しく語りかけ、ふれあいを大切にしながら安定した信頼関係を築く。</li><li>・見る・聞く・触れるなどを通して、身の周りに対する興味や好奇心が芽生え、遊ぶ喜びを知る。</li></ul>
1 歳児	<ul style="list-style-type: none"><li>・保育者に快く世話をしてもらいながら、自分でやろうという気持ちが芽生える。</li><li>・歩行が完成し、安全で活動しやすい環境の中で、自分なりに活動範囲を広げる。</li><li>・好きな遊びを見つけ一人遊びを楽しむ。</li></ul>
2 歳児	<ul style="list-style-type: none"><li>・保育者に見守られながら、簡単な身の回りのことを自分でできるようになる。</li><li>・生活の中で身の回りのものの名前や簡単な数、形、色などがわかり、言葉を使って伝えたり言葉のやり取りを楽しんだりする。</li><li>・好きな遊びやみたく・つもり・ごっこ遊びを楽しむ。</li></ul>

### ② 人材育成

・職員各々の園外研修・園内研修を充実させて、保育士としての責任感を持ち、実践的な保育の質の向上を図り、自身のスキルアップを元に、子どもの成長発達に寄与していきます。

### ③ 運営管理

・子育て応援隊として保護者の子育てと仕事の両立を支援していくために標準時間、土曜保育に対応し、子どもの最善の利益の追求と保障、子育てと仕事の両立支援に徹します。

・保護者がより一層安心して働けるように細やかな心配りを欠かさず、又、子ども達の楽しく過ごしている状況が保護者に伝わるように園便り、H P、Instagramを充実させます。

・定員割れを解消する。

・慈光こども園、SAKURA 保育園千川、SAKURA 保育園谷在家、LSJ 竹ノ塚、LSJ 梅田、LSJ 谷在家、SAKURA 保育園竹ノ塚、SAKURA 保育園綾瀬との連携を取り、人事交流、情報交換を行いながら、法人の持つノウハウを教えて頂き、法人の行う事業全体に寄与することを目指します。

## (2) 実施施策

### ① 保育活動

#### 施策 1

- ・ 季節ごとの色の変化や音、葉っぱなどの感触、花の匂いを戸外の散歩へ行って感じ、経験を増やしてあげる。
- ・ 季節ごとの給食で色々な味を提供する。

#### 施策 2

ECC の英単語や体を動かすリトミック体操を通じて楽しく英語に触れ、発達段階に応じた保育を目指します。

#### 施策 3

子ども達一人ひとりとしっかり関わって信頼関係を築く。

#### 施策 4

個々の発達段階に合わせ、姉妹園と情報交換し共有する。

### ② 人材育成

#### 施策 1

- ・ 個々の能力を発揮、研修で学んだことや自分の得意な分野を保育に活かしてもらう。

#### 施策 2

- ・ 職員同士が何でも言い合える環境を作り、報告、連絡、相談は必須。コミュニケーション不足にならないよう何かあれば直ぐに話し合い解決していく。

#### 施策 3

- ・ 面談の機会を頻繫にとる。  
(1 on 1)
- ・ 法人クレドを職員会議で読み合わせ確認する。

#### 施策 4

- ・ 就業中の私語は禁止、職員同士も礼をわきまえた正しい言葉遣いをする。
- ・ 子ども達の手本になるような行動や言葉遣いをする。

### ③ 運営管理

#### 施策 1

- ・園のInstagramやホームページを活用し地域の方に保育園を知ってもらい定員を充足できるようにする。また、子育て応援隊として、保護者の方に喜んでいただけるよう最善を尽くします。

#### 施策 2

- ・開かれた保育園を目指し、地域との関わりを積極的に持つように務める。  
地元町会への参加・近隣商店との連携・近隣の教育施設との連携

#### 年間保育日数 292日（月ごと）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
日	25	24	25	26	25	24	26	23	24	23	22	25

#### 年間利用者数（月ごと）推定

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
日	10	12	14	15	15	16	16	17	17	17	17	17

#### 職員数の推移（月ごと）推定

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
日	9名											

#### 年間行事予定（添付）

- 4月 入園式・進級式、
- 5月 こどもの日の会、
- 6月 ミニ遠足、懇談会 春の乳児健診
- 7月 七夕の会、水遊び
- 8月 夏祭り
- 9月 個人面談
- 10月 引き取り訓練、ハロウィン
- 11月 保育参加、七五三のお祝い、秋の乳児健診
- 12月 クリスマス会

1月 お正月遊びの会

2月 節分の会

3月 ひなまつりの会、懇談会、卒園式

月例行事 お誕生会・身体計測・避難訓練

# SAKUAR 保育園綾瀬 2025 年度事業計画

社会福祉法人慈光明徳会

## 1. 基本情報

### (1) 所在地

足立区綾瀬4-6-5

### (2) 保育理念

- ・子どもの最善の利益を追求し保障していきます。
- ・子育てと仕事の両立支援に徹します。
- ・地域の子育て支援を行います。

### (3) 保育方針

- ・子ども一人一人をあるがまま受け止め、子どもの心に寄り添い応答的保育に努めます。
- ・子どもの健やかな成長を願い、一人一人の健康状態を把握し、きめ細やかに対応します。
- ・自らの感性を豊かにみがき、子どもの内的な声をよく、よく聴き、共感します。
- ・子どもが楽しかった、嬉しかったと思えるような、好奇心いっぱい遊びたくなる環境を工夫します。
- ・体と心の栄養になるよう、安全でおいしい手作りの給食を作ります。
- ・保護者と共に子どもの成長や発達を喜び合い、協力して子育てを支え、保育の専門性を活かし、その援助にあたるようにします。

### (4) 保育目標

- ・基本的生活習慣を身につけ、情緒の安定した子どもを育てる。

## 2. 前年度振り返り・課題

### (1) 利用者数

	利用定員	利用者数 (期首)	利用者数 (期末)	利用者数 増減 (期首～期末)	空き定員	対前年比 (利用者数 期末)
全体	19名	13名	19名	+6名	0名	+19名
0歳児	6名	2名	6名	+4名	0名	+6名
1歳児	6名	5名	6名	+1名	0名	+6名
2歳児	7名	6名	7名	+1名	0名	+7名

### (2) 職員数

	人数 (期首)	人数 (期末)	離職数	新規採用数	(内新卒採用数)
全体	8名	8名	0名	0名	(0名)
保育士	7名	7名	0名	0名	(0名)
保育補助	0名	0名	0名	0名	(0名)
調理員(栄養士・調理師含む)	1名	1名	0名	0名	(0名)
看護師	0名	0名	0名	0名	(0名)

### (3) 自己評価結果

施設自己評価実施時期：2025年03月

自己評価結果 スコアランキング(大項目ごと)

ランク	項目	スコア	優先度
1	1. 基本的理念と社会的責任	4.00	高
2	2. 保育の配慮事項	4.00	中
3	6. 1～3歳未満のねらいと内容	4.00	中
4	7. 3歳以上児のねらいと内容	4.00	中
5	9. 食育の推進	4.00	低
6	13. 家庭との連携（在園児）	4.00	中
7	3. 計画・評価・育ちの見通し	3.80	低
8	5. 乳児保育のねらいと内容	3.80	中
9	8. 健康支援	3.80	中
10	12. 災害対策	3.80	高
11	15. 職員の資質向上	3.80	低
12	4. 特別支援・障がい児保育	3.75	中
13	11. 環境・衛生管理	3.67	中
14	10. 安全管理	3.60	高
15	14. 家庭との連携（地域）	3.00	低

#### 振り返り・課題

#### (4) 前年度目標と振り返り

##### ① 保育活動

###### 目標

- ・子どもたちが情緒の安定した時間を過ごせるよう、しっかり子どもの気持ちを受け止め、寄り添い物的・人的環境を整えていく
- ・保護者がより一層安心して働けるように細やかな心配りを欠かさずまた、子どもたちの楽しく過ごしている状況が伝わるように園だより、SNS、ブログを充実させます。

###### 振り返り・課題

- ・子どもの成長に合わせ無理のない活動を計画することで、子どもたちが興味を持って楽しむ姿を見ることができた。
- ・季節の行事では保護者の参加は無かったが、子どもたちの取り組む姿勢を伝えることで成長している姿と一緒に喜んでもらうことができた。
- ・ソダツラボ（英語リトミック）では沢山のネイティブな英語に触れることで普段の生活でも簡単な単語を使うようになってきた。クリスマス会ではその中で子どもたちが喜んで歌っている曲のダンスを披露した。
- ・運動遊びではバランスボールを使用したりパック椅子の上り下り、ジャンプ、などを沢山取り入れ危険の無いよう見守りながら体感を鍛える事を意識した。個人差はあるが続けることで成長している姿が見られた。

※子どもたちの成長には個人差があるため、個々の発達に合わせた活動を計画していく。

## ② 人材育成

### 目標

- ・ 職員の育成に力を入れ、園内研修・園外研修・小規模3園との年齢別ミーティングを充実させて職員の向上を図り、子どもの成長、発達に寄与していきます。

### 振り返り・課題

- ・ 4月に異動してきた職員が2カ月で前園に戻ってしまった。そのため担当しているシフト、係等のへんこうが余儀なくされたが、職員はすぐに調整を取り、園の活動には支障なく進めていくことができた。普段の職員のコミュニケーションの大切さが伝わった。(9月より1名入職)
- ・ 経験の長い職員が多いが、様々な研修を受けることで今の保育の現状を知り日々学ぶ姿勢が身についてきた。引き続き新しい情報を受け入れスキルアップしていく。
- ・ 職員の休暇、保護者対応等が重なり計画していた研修をキャンセルすることが何度かあった。次年度はなるべく重ならないよう計画を立てていく。
- ・ 職員がスキルアップしながら働きやすい環境を整えていけるよう、個々の職員とのコミュニケーションをしっかりとっていく。

## ③ 運営管理

### 目標

- ・ 法人本部のある熊本の慈光こども園と連携を取り、人事交流、人事交換を行いながら法人の持つノウハウを教えて頂き、法人の行う事業全体に寄与することを目指します。

### 振り返り・課題

- ・ 少子化の中、厳しい状況が続いているそのため昨年度定員変更をおこなった事により今年度は2歳児9名でのスタートになったが、途中での転勤、転園が続いてしまった。転園の保護者からは、このまま綾瀬に通いたいと兄弟一緒が良いとのこと、転園した後も元気な様子を見せて来てくれることは嬉しく保護者との良い関係が築けた。
- ・ 今後も園の様子を発信し園児獲得に努めていく。
- ・ 常に設備の点検を行ったことで大きな事故に繋がることはなかった。調子の悪くなった場所に対してはすぐに本部に相談し対応していった。

## 3. 当年度目標と施策

### (1) 当年度目標

#### ① 保育活動 全体

- ・ 子どもたちが情緒の安定した時間を過ごせるよう、しっかり子どもの気持ちを受け止め、寄り添い、物的・人的環境を整えていく。
- ・ 保護者がより一層安心して働けるように細やかな心配りを欠かさず、また、子どもたちの楽しく過ごしている状況が保護者に伝わるように(海外の方々にもわかりやすく丁寧な説明をしていく)園だより、SNS、HPを充実させる。

#### ① 保育活動 担当別

担当	目標
0歳児	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 一人ひとりの発達・発育状態に応じて離乳や歩行の完成を目指す。</li><li>・ 一人ひとりの子どもの生活リズムを安定させ、安全で清潔な環境のなか心地良く過ごせるようにする。</li></ul>

1 歳児	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分でしようとする気持ちの芽生えを援助されながら基本的習慣を身につける。</li> <li>・遊びの中で自分の思いを動作や片言で表現し、友だちへの関心を示す。</li> </ul>
2 歳児	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者との安定した関わりの中で、基本的な生活習慣を身につける。</li> <li>・いろいろな経験を通して、自分の思いや要求を言葉で表現したり、いろいろな運動遊びを通して運動機能をはかる。</li> </ul>

## ② 人材育成

- ・職員の育成に力を入れ、園内研修・園外研修・法人研修・小規模年齢別ミーティングを充実させて職員の質を図り、子どもの成長、発達に寄与していく。
- ・職員の得意を取り入れ、スキルアップできる環境を整えていく。

## ③ 運営管理

- ・法人本部、支部、他の園との連携を取り、人事交流、情報交換を行いながら、法人の持つノウハウを教えて頂き、法人の行う事業全体に寄与することを目指す。
- ・安全確保と健全な発達のため見守りを配慮していく。

## (2) 実施施策

### ① 保育活動

#### 施策 1

##### <季節の行事>

- ・4月入園式、進級式
- ・5月こどもの日の集い ミニ遠足
- ・7月七夕の会
- ・8月夏祭り
- ・10月お月見の会 運動会ごっこ ハロウィン
- ・11月お店屋さんごっこ
- ・12月クリスマス会
- ・2月節分の会
- ・3月ひな祭り会 お別れの会

※子どもの成長に合わせ無理のない活動を取り入れていく

- ・入園式、クリスマス会、お別れの会は保護者参加

#### 施策 2

##### <月例行事>

- ・身体測定・誕生会・避難訓練（地震、火災）月1回
- ・8月不審者訓練 2月水害訓練
- ・引き取り訓練 年1回

※災害訓練では子どもたちが慌てないように毎月頭巾を被る、おててマスク等を伝えていく

#### 施策 3

##### <ソダツラボ>

- ・外部の講師による英語リトミック 月1回 ネイティブな英語に触れ興味を持つ

##### <赤ちゃん体操>

- ・成長に合わせ脳の感覚情報を意識した活動を取り入れる

#### 施策 4

#### <食育>

- ・野菜の苗を育てる
- ・季節の野菜に触れる
- ・身近な食材を使っておにぎり作り、とうもろこしの皮むき、うどん作り等の体験を楽しむ

### 施策5

#### <保護者に向けて>

- ・4月 保護者会
  - ・7, 8月 個人面談（希望者） その他随時個々に応じて行う
  - ・入園式、お別れの会 新入園児、卒園児の保護者のみ参加
  - ・クリスマス会（懇談会）
- ※保育参観は1年中オープンとし希望があれば受け入れる  
キッズリーにて必要に応じてお知らせメール送信

## ② 人材育成

### 施策1

#### <園内研修>

- ・食中毒予防及び蔓延防止
  - ・危機管理安全
  - ・感染症予防
  - ・睡眠中の事故防止
  - ・衛生管理
  - ・アレルギー等
- マニュアルの確認読み合わせ確認

#### <職員会議>

- ・月1回（随時）

### 施策2

#### <法人研修>

- ・新人研修 2回
- ・職員研修 2回
- ・園長研修 3回
- ・主任研修 3回
- ・リーダー研修 3回
- ・パート研修 1回
- ・園長、副園長、事務員研修 1回
- ・法人保護者後援会 2回
- ・SBT研修 3回
- ・法人のクレドを理解し学ぶ

### 施策3

#### <足立区研修>

- ・年齢別担任研修
  - ・発達障がい研修
  - ・人権研修
  - ・新人研修
  - ・中堅研修
  - ・安全、危機管理研修 等
- ※足立区からお知らせが届き、その都度申し込み受講する

### 施策4

#### <小規模3園年齢別ミーティング>

- ・給食ミーティング
- ・0歳児、1歳児、2歳児ミーティング 各2回
- ・小規模での活動の様子問題点を共用し解決を見つける

## ③ 運営管理

### 施策1

#### <安全管理>

- ・非常災害時の避難訓練、消火訓練 月1回
- ・不審者訓練、水害訓練、引き取り

### 訓練 各年1回

- ・非常食糧の備蓄確認（全児童数＋全職員）×3食×（1日～3日）分
- ・自衛消防訓練（足立消防署大谷田出張所署員）年1回…メトロ開発
- ・消防設備点検 年2回…メトロ開発
- ・園内設備点検 随時点検

### <衛生管理>

- ・感染予防を徹底し安全、安心の環境設定を心がける

## 施策2

### <事務関係>

- ・社会福祉法人会計基準を遵守し、適正な会計事務をおこなう
- ・その他の運営費の請求時事務等、施設運営に関しては、本部との連携の下おこなう
- ・ペーパーレス化を進める

## 施策3

### <園児獲得>

- ・園で取り組んでいる活動の様子を SNS、ホームページ等で発信していく
- ・園見学では丁寧に対応をしていく
- ・近隣への挨拶（散歩時等）

### <職員の安定>

- ・職員が安心して働ける環境を整えていく

### 年間保育日数（月ごと）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
日	25	24	25	26	25	24	26	23	24	23	22	25

### 年間利用者数（月ごと）推定

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
日	13	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19

### 職員数の推移（月ごと）推定

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
日	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8

### 年間行事予定（添付）

- 4月 入園式・進級式 保護者会
- 5月 こどもの日の集い ミニ遠足
- 7月 七夕の会 個人面談
- 8月 夏祭り
- 10月 お月見の会 運動会ごっこ ハロウィンごっこ

11月 お店屋さんごっこ  
12月 クリスマス会 懇談会  
2月 節分の会  
3月 ひな祭り会 お別れ遠足 お別れの会

月例行事

- ・身体測定 誕生会、避難訓練
- ・引き取り訓練 不審者訓練 水害訓練 (年1回)

# SAKURA 保育園千川 2025 年度事業計画

社会福祉法人慈光明徳会

## 1. 基本情報

### (1) 所在地

東京都豊島区千川 2-30-2

### (2) 保育理念

- ・子どもの最善の利益の追求と保障
- ・子育てと仕事の両立支援
- ・地域の子育て支援

↓

子どもたちと保護者の皆様の幸せを願い、本気の子育て応援隊として精進します

### (3) 保育方針

『教育・保育要領』『保育所保育指針』を遵守し、以下のメソッド（一人一人の個性・特性に寄り添った慈光メソッド）に基づいて教育・保育を行います。

教育・保育を科学します

脳科学による適時性の教育・保育

スポーツ理論 JP メソッドに基づく身体能力の向上

身体の中から生きる力を育む食育

自然や日常生活を通した五感教育

躰教育

上記のプログラムを通し、認知能力・認知能力を応用する力・非認知能力を育み、以下 10 項目を卒園までに育みます。

- ①健康な心と体
- ②自立心
- ③協同性
- ④道徳性・規範意識の芽生え
- ⑤社会生活とのかかわり
- ⑥思考力の芽生え
- ⑦自然とのかかわり・生命尊重
- ⑧数量・図形・文字等への関心・感覚
- ⑨ことばによる伝え合い
- ⑩豊かな感性と表現

### (4) 保育目標

世のため人の為に生きようとする日本を支える人財になってほしい。

そのために、自立した誇りある日本人としての土台を徳・知・体を通して育みます。

↓

たくましく生き抜く力を育みます

## 2. 前年度振り返り・課題

### (1) 利用者数

	利用定員	利用者数 (期首)	利用者数 (期末)	利用者数 増減 (期首～期末)	空き定員	対前年比 (利用者数 期末)
全体	66名	59名	62名	+3名	+4名	+1名
0歳児	6名	2名	6名	+4名	0名	+6名
1歳児	12名	12名	12名	0名	0名	+12名
2歳児	12名	12名	12名	0名	0名	+12名
3歳児	12名	12名	12名	0名	0名	+12名
4歳児	12名	11名	11名	0名	+1名	+11名
5歳児	12名	10名	9名	▲1名	+3名	+9名

### (2) 職員数

	人数 (期首)	人数 (期末)	離職数	新規採用数	(内新卒採用数)
全体	20名	22名	1名	4名	(1名)
園長	1名	1名	0名	0名	(0名)
保育士	12名	11名	1名	1名	(1名)
保育補助	4名	7名	0名	3名	(0名)
栄養士	1名	1名	0名	0名	(0名)
看護師	1名	1名	0名	0名	(0名)
事務員	1名	1名	0名	0名	(0名)

### (3) 自己評価結果

今年度の施設自己評価の実施はありませんでした

### (4) 前年度目標と振り返り

#### ① 保育活動

##### 目標

「体の力」「学びの力」「心の力」を養うためのカリキュラムを中心に、身体的、情緒的、社会的、認知的、健全に発達するための基盤を築きます。

- ・全人的な発達支援
- ・多様な学習経験
- ・個々の子どものニーズに応じた支援

また、不易流行の法人理念の基、時代の流れに合わせた多様性、自己表現とコミュニケーション能力、健康とウェルビーイングを支援します。

##### 振り返り・課題

・各年齢に応じた運動遊びを取り入れる中で、レッシュ理論に替わる新しいJPメソッドを実践。今までとは違った形のアプローチを行うことで、これまで以上に園児の身体的発達を促進することができた。

また、保育の中で感情表現を促す活動（絵本の読み聞かせ、ロールプレイ、気持ちを伝え

る練習など)を意識的に取り入れ、情緒の安定や自己表現の向上が見られた。

・遊びの中に数・言葉・科学的思考を促す要素を組み込むことで、学びへの興味を自然に引き出せるよう工夫した。

・時代の変化に対応しながらも、園の理念に基づいた保育を継続的に行うことができた。特に「仕のきまり」を意識して伝えていくことで子どもたちが自主的に取り組む姿が見られた。

また、子どもたちの個性を尊重し、自由に表現できる環境を整えた結果、発表会や日常の遊びの中で、自信をもって自己表現する姿が増えた。

## ② 人材育成

### 目標

職員一人一人が自身の能力とキャリアを充実させ、モチベーションを向上するため、以下のアプローチを行う。

- ・専門性の向上
- ・実践的なスキル習得
- ・コミュニケーションとチームビルディング

人材育成を通し、保育園の持続可能な成長と発展を目指します。

### 振り返り・課題

・保育士の専門知識向上のため、定期的に研修を実施した。新たに導入したパート研修も好評で、職員全員が法人の理念や保育の内容に共通認識を持つ機会となった。

また、外部研修への参加を推奨し、新たな保育手法や最新の教育理論を学ぶ機会を確保した。ただし、業務の都合上、全員が積極的に参加できる状況ではなかったため、参加者が学んだ内容を職員間で共有する仕組みを整える必要がある。

・日々の保育の中で、職員が主体的に指導計画を考え、実践を通じてスキルを磨けるよう支援した。特に、新任職員にはOJTを強化し、経験豊富な職員が伴走する形で指導を行った。

・職員同士のコミュニケーションを円滑にするため、定期的なミーティングを実施した。特に、各クラスの状態を共有し、子どもへの対応について意見交換を行う場を設けたことは、チームワークの向上に寄与した。

## ③ 運営管理

### 目標

法人理念を実現し、園を発展させる。

- ・施設管理とリスク管理
- ・人事管理
- ・コミュニケーションと関係者管理

保護者や地域からの更なる信頼獲得を目指し、職員が働きやすい環境を整える。

### 振り返り・課題

・施設の安全点検を定期的実施し、危険箇所の早期発見・対応を行った。特に、0歳児・1歳児クラスの安全対策を強化し、転倒や誤飲のリスクを低減できた。

避難訓練や不審者対応訓練を定期的実施し、職員が緊急時に迅速に対応できる体制を維持した。

感染症対策では、手洗い指導や室内換気、消毒の徹底により、集団感染のリスクを最小限に抑えることができた。特に、インフルエンザや胃腸炎の流行期において、迅速な対応が功を奏した。他にも消毒や清掃方法について必要に応じて振り返りを行うことで常にアッ

アップデートをすることができた。

- ・定期的な個別面談を実施し、職員の意見を取り入れながら働きやすい環境づくりを進めた。

新人職員向けの OJT を強化し、早期のスキル向上を支援した。特に、経験豊富な職員とのペア指導により、新人が安心して業務を進められる体制を整えた。

- ・行事や懇談会を通じて、保護者の意見を聞く機会を増やし、園の運営に反映する取り組みを進めた。

### 3. 当年度目標と施策

#### (1) 当年度目標

##### ① 保育活動 全体

「自ら育つ力を引き出す保育」をテーマに掲げ、時代の変化に対応した新しい学びの機会を提供する。

- ・ JP メソッドを軸とした体の力の向上
- ・ 絵本やプリントなどの文字から育まれる学びの力の向上
- ・ 仕のきまりを通して育まれる心の力の向上

##### ① 保育活動 担当別

担当	目標
0 歳児	担任保育士との応答的保育により情緒の安定を図り、基本的信頼関係の土台作りを行います。運動ができる環境を整え、一人一人の発達段階に応じた粗大運動を積極的に取り入れ、運動能力を引き出していきます。又、五感を十分に働かせることができる人的・物的環境を整え、バランスのとれた発達を促す。
1 歳児	自分でやりたい気持ちを大切に受容し、「待つ保育」に徹することで主体性の芽生えと意欲を大切に育みます。散歩・サーキット運動・戸外遊び等自ら環境とかかわる経験の中で運動能力を高めていきます。又、五感を十分に働かせることができる人的・物的環境を整え、バランスのとれた発達を促していきます。
2 歳児	目の前にある環境に興味関心をもって自ら関わろうとする好奇心全開のエネルギーを最大限に受け止め、五感をとおして主体的に意欲的にかかわることのできる環境を整えていきます。かけっこ・戸外遊び・運動遊びを通して運動能力を高めます。文字への関心も促していきます。
3 歳児	主体性を尊重し 5 領域の様々な保育活動の総合力と五感を大切にした徳・知・体のバランスのとれた発達を目指します。基本的なルールの理解をはじめ、創造性と表現力、感情の表現と理解を育てていきます。
4 歳児	主体性を尊重し 5 領域の様々な保育活動の総合力と五感を大切にした徳・知・体のバランスのとれた発達を目指します。社会的スキルの発達や学習への興味と好奇心を育てていきます。
5 歳児	主体性を尊重し 5 領域の様々な保育活動の総合力と五感を大切にした徳・知・体のバランスのとれた発達を目指します。就学に向けた取り組み、問題解決能力を育むための論理的思考力を育成します。

##### ② 人材育成

クレドを遵守した職員の安心安全な職場環境づくりを行う。

- ・ 本気の子育て応援隊としての覚悟・志を持つ
- ・ 報告・相談・連絡をスピード感を持って行い、怠らない組織づくり
- ・ 就業中の私語は禁止・職員同士も礼をわきまえた正しい言葉遣いをする

##### ③ 運営管理

法人理念を具現化し、持続可能な園運営を推進する。

- ・ 信頼と質の向上を目指した運営
- ・ 人事管理と職員の働きやすさの向上
- ・ 施設・環境管理の強化

## (2) 実施施策

### ① 保育活動

#### 施策 1

【JP メソッドを軸とした体の力の向上】

- ・0～2 歳児には、散歩を通しての歩く活動や自然に体を動かせる環境を整え、発達に応じた適切な運動機会を提供する。
- ・3～5 歳児には、マット運動、跳び箱などの基礎的な運動に加え、姿勢の改善や柔軟性の向上などにアプローチをかけていく。

#### 施策 2

【絵本やプリントなどの文字から育まれる学びの力の向上】

- ・年齢に応じた絵本の読み聞かせを継続し、語彙力や表現力、想像力を豊かにする。
- ・3 歳児からは簡単なひらがな・数字に親しむ活動を取り入れ、遊びを通じて学びの土台をつくる。

#### 施策 3

【什のきまりを通して育まれる心の力の向上】

- ・什のきまりを基に、挨拶、思いやり、公共のルールを意識した生活態度を育む。
- ・異年齢交流を通じて、年長児が年少児をいたわり、助け合う経験を積むことで、自主性と責任感を育む。

### ② 人材育成

#### 施策 1

【本気の子育て応援隊としての覚悟・志を持つ】

- ・クレドの配付や職員会議などでの唱和を通して一人ひとりの職員が法人職員の自覚をもって取り組む。
- ・研修や自己研鑽を行い、常に知識や技能の向上に努める。

#### 施策 2

【報告・相談・連絡をスピード感を持って行い、怠らない組織づくり】

- ・管理日誌、カタグルマなどの使い方について職員間で共通認識をもつ。
- ・報告、相談、連絡のしやすい風通しの良い職場を構築するとともに、先輩職員は気を配ることを意識して取り組む。

#### 施策 3

【就業中の私語は禁止・職員同士も礼をわきまえた正しい言葉遣いをする】

- ・職員は子どもの手本となることを常に心がけ、規範となる行動を行う。
- ・人間関係において協調性、協力的態度を持って業務に臨む。

### ③ 運営管理

#### 施策 1

【信頼と質の向上を目指した運営】

- ・保護者や地域住民に対して、園の運営状況や行事の成果などを報告する。園のInstagram やホームページを活用し、定員充足と保護者満足度を得る。
- ・地元の教育機関や福祉施設と連携し、地域のニーズに応じた活動を実施。地域社会に貢献することを園の活動として位置づけ、地域との信頼関係を築く。
- ・年々増加傾向である外国籍の家庭に向けたホームページや SNS、情報を充実させ、外国籍の家庭にも選ばれる園になる。

## 施策 2

### 【人事管理と職員の働きやすさの向上】

- ・ 定期的な職員会議を開催し、運営状況や現場での課題について意見交換を行う。職員が自由に意見を言いやすい環境を作り、職場の透明性を高める。会議では問題解決だけでなく、成功事例の共有やモチベーション向上を目的にした話し合いも行う。
- ・ 定期的な個人面談を開催し、保育の悩みや課題などを明確にしていく。個人のものだけでなく、職場としての改善点なども共有することで離職率 0%を目指す。

## 施策 3

### 【施設・環境管理の強化】

- ・ 感染症対策として、清掃や消毒のルールを徹底し、特に高頻度で触れる場所（ドアノブ、手すり、トイレなど）の衛生管理を強化する。職員に対しても手洗いや衛生教育を定期的に行い、衛生面の意識を高める。
- ・ 避難経路や避難場所の表示を明確にし、緊急時に迅速かつ安全に避難できるようにする。避難訓練や防災訓練を定期的に行い、職員と子どもたちがその手順を理解できるようにする。



6月	梅雨遊び、水遊び	7月	七夕
8月	夏祭り	9月	運動会
10月	ハロウィン	11月	保護者会
12月	クリスマス会、乳児発表会	1月	正月遊び
2月	節分、幼児発表会	3月	ひなまつり、卒園式、お別れ会

## ⑥食事

[1] 目標『食べることが大好きな子に!』に育てます。

配慮事項

- ・薄味、和風献立に心がけます。
- ・旬の素材を使った献立作り。
- ・見た目においしく、食べておいしい食事づくり。
- ・食を科学します。摂取カロリー・栄養素の確認。
- ・保護者との連携を密にします。

[2] 栄養管理

当園の栄養士とシダックスフードサービスの栄養士が連携を取りながら、栄養管理を科学的に行っていきます。

[3] 食育

- 毎月 予定献立表を配付（幼児食・アレルギー幼児食・離乳食）。
- 掲示板 食に関わる情報を提供。
- 媒体 給食だより、食育便りを園の食事の紹介や栄養情報などをまとめ、毎月発行。
- 食を考える 年長・年中児を対象に、食品を働きを三食食品群を通して学びます。
- 食育チーム 0歳児は、月1回の食育会議にて子どもの食事の状況、離乳食の移行時期、献立について、園長・栄養士・シダックスフードサービス責任者と話し合います。又、月1回の食育会議にて、献立についての感想や反省、改善などや提供された食事への感想・反省、改善案などを出し合い、よりおいしい食事作りへ取り組んでいきます。
  - ・給食献立のレシピを作り、保護者に提供。
  - ・毎日の献立をブログにて紹介。

[4] 衛生管理

- ・衛生チェック表を作成し、毎日衛生項目にそって確認。
- ・調理人の細菌検査（毎月1回） 調理室・乳児調理室の掃除、冷蔵庫消毒、食器洗浄後熱風庫にて保管、原材料・調理済み食品の保存（2週間）。

[5] 栄養給与目標（給食・おやつでとりたい栄養量の目安）

日本人の食事摂取基準（2020年版）をもとに、変更点 幼少期からの食事の嗜好や食習慣は、成人期の生活習慣病の予防に大きく関わってくることから、2020年変更点①～④を考慮し、給食の提供を行う。①食物繊維の目標量の追加 ②カリウムの目標量の追加 ③ナトリウム（食塩相当量）の目標量の低下 幼少期から薄味に慣れる ④飽和脂肪酸の目標量の追加 肉の脂身やバターなどに多い飽和脂肪酸の過剰摂取を防ぐ等、考慮して目標値を設定する。

[6] 離乳食に関して

「離乳の基本」が改定され、個人差を考え、無理のない離乳を進めていきます。1歳児の食事に関しては、離乳食（完了食）後、間もない子には、そのまま離乳食（完了食）を準備し、少しずつ完成し、充実させます。アレルギー児の「食物除去」も、それぞれの子どもの症状により対応し、必要により除去解除できるようにしていきます。

○離乳食の進め方

- ①食べやすい形で…子どもの状態にふさわしい形で与える。手づかみ食べを十分にし、噛める子どもに育てます。

②栄養と食品のバランスを考えて…準備期は別として、ある程度進んだら離乳食の中に穀類・タンパク質類・野菜の三種類を合わせます。アレルギーをおこしやすい卵については、中期食迄使用しない献立にします。

③薄味で…調味料をできるだけ使わず、素材の味を生かして調理します。

## ⑦安全管理

- ・非常災害時の避難訓練・消火訓練 毎月 1 回
- ・不審者訓練 年 2 回
- ・AED訓練 年 1 回

## ⑧職員に関すること

### 〔1〕職員構成

園長	1 名
主任	1 名
保育士	12 名
非常勤保育士	2 名
パート保育士	2 名
看護師	1 名
栄養士	1 名
事務員	1 名
嘱託医（非常勤）	1 名
嘱託歯科医（非常勤）	1 名

### 〔2〕健康管理

- ・健康診断 年 1 回
- ・細菌検査 毎月 1 回 全職員

### 〔3〕職員会議

- ・職員全体会議 年間 12 回
- ・発達支援会議 月 1 回
- ・食育会議 月 1 回
- ・リーダー会議 月 1 回

### 〔4〕研修計画

- ・職場内研修・新人研修・リーダー研修・キャリアアップ研修・SBT 研修
  - ・衛生看護研修・豊島区開催の研修会・東京都社会福祉協議会開催の研修
- ※その他必要と認める研修には随時参加

### 〔5〕退職・福利厚生

- ・福祉医療機構退職共済制度加入、ソエルクラブ加入

## ⑨特別保育事業

### 〔1〕延長保育事業

- ・保育標準時間を超えて保育を必要とする家庭への支援

### 〔2〕病児保育事業

- ・体調不良児対応型

### 〔3〕緊急1歳児受入事業

- ・未就園の1歳児を対象とした保育を必要とする家庭への支援

〔4〕誰でも通園制度（0歳児クラス対象：余裕活用型）

- ・保護者の就労に関わらず未就園の児童を預けられる

## ⑩連携関連

〔1〕保護者との連携

子育ての車の両輪として、密な連携を図っていきます。

- ・保護者説明会（親の会）の実施により園の運営方針を理解してもらいます。
- ・月1回の園便り・クラス便り・給食便り・保健便りの発行
- ・保育活動のブログへの掲載（毎日）・ホームページによる法人全体の情報提供
- ・アプリを使用した連絡帳の使用により、いつでもどこからでも園と連絡をとれるようにします。
- ・クラスごとの懇談会を実施し、保護者間のコミュニケーションの場を設けます。

〔2〕関係機関との連携

園児の発達支援に係る行政関係機関等の連携を深め、より良い支援ができるようにしていきます。

## ⑪施設管理

〔1〕事務関係

ア 会計事務、管理事務

- ・社会福祉法人会計基準を遵守し、適正な会計事務を行います。
- ・社会保険・雇用保険事務に関しては、社会保険労務士への業務委託により安心・安全・安定を担保した労務管理をおこないます。
- ・その他の運営費の請求・保育料管理等施設運営に必要な事務

イ 児童処遇事務（保育、給食、健康管理）

園児一人ひとりに関するすべての情報を園児管理システム・ネットワークシステムにより作成したものを、全員が共有・周知できるようにします。最大級のセキュリティ管理の元、すべての書類をデータ化します。

〔2〕備品関係

ア 備品購入予定 必要に応じて購入

イ 保育用品購入 必要に応じて購入

ウ 給食用品購入 必要に応じて購入

エ 固定資産物品購入 予定なし

〔3〕災害対策

ア 避難訓練・消火訓練 毎月1回

イ 防災設備の点検委託 年2回（内、届け出1回）

ウ 非常食糧の備蓄 （全児童数＋全職員数）×3食×（1日～3日）分

〔4〕近隣との連携

ア ふるさと千川協議会 どんど焼き・桜祭り・夏祭り、清掃活動等のボランティア活動

イ デーサービス豊寿園との交流（年1回）

※行事・非常訓練等で園の敷地外に出る場合・水遊びや夏祭り等で園児の声が響く可能性がある場合は、事前にお知らせし、ご理解を得ておくようにします。

年間保育日数 292 日（月ごと）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
日	25	24	25	26	25	24	26	23	24	23	22	25

年間利用者数（月ごと）推定

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
日	66	66	66	66	66	66	66	66	66	66	66	66

職員数の推移（月ごと）推定

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
日	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23

年間行事予定（添付）

- 4月 入園式、保護者会
  - 5月 こどもの日
  - 6月 梅雨遊び、水遊び
  - 7月 七夕
  - 8月 夏祭り
  - 9月 運動会
  - 10月 ハロウィン
  - 11月 保護者会
  - 12月 クリスマス会、乳児発表会
  - 1月 正月遊び
  - 2月 節分、幼児発表会
  - 3月 ひなまつり、卒園式、お別れ会
- 月例行事 身体計測・避難訓練

# SAKURA 保育園谷在家 2025 年度事業計画

社会福祉法人慈光明徳会

## 1. 基本情報

### (1) 所在地

東京都足立区谷在家 2-14-13

### (2) 保育理念

- ・子どもの最善の利益を追求し保障していきます。
- ・子育てと仕事の両立支援に徹します。
- ・地域の子育て支援を行います。

### (3) 保育方針

命を守ることを第一義にあげ、『保育所保育指針』に依拠し、安心・安全な環境のもと、以下のメソッドに基づいて教育・保育を行います。

- ・脳科学の知見を活かした適時性の保育・教育
- ・脳科学の知見を活かした身体づくり
- ・体の中から生きる力をはぐくむ「食育」
- ・自然を通した「五感教育」
- ・「躰教育」什のきまり・・・人として正しい行いを学びます。

上記、バランスの取れたプログラムにより、子どもの無限の可能性を引き出す環境の中で、変化する時代に対応できる「たくましく生き抜く力」を育みます。

### (4) 保育目標

たくましく生き抜く力をはぐくみます

世のため人のために生きようとする日本を支える人財になってほしい。  
そのために、自立した誇りある日本人としての土台をつくります。

## 2. 前年度振り返り・課題

### (1) 利用者数

	利用定員	利用者数 (期首)	利用者数 (期末)	利用者数 増減 (期首～期末)	空き定員	対前年比 (利用者数 (期末))
全体	100名	89名	91名	+2名	+9名	0名
0歳児	9名	9名	9名	0名	0名	+9名
1歳児	15名	15名	15名	0名	0名	+15名
2歳児	16名	16名	16名	0名	0名	+16名
3歳児	20名	16名	14名	▲2名	+6名	+14名
4歳児	20名	14名	17名	+3名	+3名	+17名
5歳児	20名	19名	20名	+1名	0名	+20名
フリー	0名	0名	0名	0名	0名	0名

## (2) 職員数

	人数 (期首)	人数 (期末)	離職数	新規採用数	(内新卒採用数)
全体	28名	28名	3名	5名	(0名)
保育士	22名	22名	1名	4名	(0名)
保育補助	2名	3名	1名	1名	(0名)
調理員(栄養士・調理師含む)	1名	0名	1名	0名	(0名)
看護師	1名	1名	0名	0名	(0名)
事務員	2名	2名	0名	0名	(0名)

## (3) 自己評価結果

今年度の施設自己評価の実施はありませんでした

## (4) 前年度目標と振り返り

### ① 保育活動

#### 目標

- ・ 慈光メソッドの各年齢ごとの目標値を意識した取り組みをおこなう。
- ・ 足立区保育のガイドラインに基づく保育を参考にし、応答的な保育をする。
- ・ 園児管理システムの保育計画・振り返りを実践し PDCA サイクルをしっかりと行う

#### 振り返り・課題

- ・ 慈光メソッドについては、幼児クラスは強く意識してカリキュラムに取り組むことが出来、去年と比べてひらがなが読めたり書けたりする子も多く、結果も出すことができた。今年度は慈光こども園から来た職員2名が谷在家でもしっかりとカリキュラムに取り組みよいお手本になり、園全体が自然と慈光メソッドを意識することができた。後半から0, 1, 2歳児について転がる・しがみつくなど JP メソッドを取り入れた遊びを毎日行うこともできたので、引き続き行っていく。課題としてはまだまだカリキュラムについて自信がなかったり定着していない職員もいるので、研修をしてカリキュラムを教えることについて苦手意識をなくし、子どもにしっかりと指導していく力を多くの職員につけていくことが大事だと思われる。
- ・ 定期的に足立区のガイドラインの読み合わせをし、全体会議の時などで保育の基本を学ぶ機会を作った。ふとしたときにマイナスの言葉がけをしてしまう職員もいるため、引き続き保育の基本については全体で勉強していく。
- ・ 日案の反省については項目を変え、よりしっかりとした振り返りができるようになった。振り返りをもとに今度からどのようにしていくとよりよい保育ができるか書き、実践していく。

### ② 人材育成

#### 目標

- ・ 新人職員が、慈光明徳会クレドに基づいて業務にあたるようにする。
- ・ 新人職員が、SBT を受講し法人としての共通言語を理解し、目標を立て挑戦できるようにする。
- ・ 新人職員が、この法人で働きたいと心から思い、勤務継続し離職ゼロにする。

### 振り返り・課題

- ・ 新人職員は子ども達に対し応答的に接し、きめ細かな保育を行うことができた。ただし乳児に関してはJPメソッド運動をしていない日もあるなど法人メソッドやクレドが浸透していないと感じることもある。来年度は慈光メソッド・クレドを浸透させて、子どもの成長発達のために0歳からなにができるか考え毎日実践していく。そのために定期的なクラス会議などをして毎日することがルーティーンになるよう話し合い決めていく。
- ・ SBTについては新人職員にはスターターを受けてもらい、法人としての共通言語を理解してもらうことができた。
- ・ パートが3人海外に引っ越しや4月から学校に行くなどで離職はするが、正職員については今年度離職ゼロで目標を達成することができた。背景としては職員同士の雰囲気が良いこと・皆で協力し休みやすい環境を作ること・休憩時間はなるべくクラスを離れノーコンタクトタイムとして面談室を利用し1時間とれるよう配慮したことが大きかったと思われる。
- ・ 人材育成の今後の課題としては幼児クラス希望の職員が少なく、カリキュラムを行うことができる職員の育成が大きな課題であると感じる。谷在家としてはやっと慈光メソッドの遵守できるよい職員がそろってきたので、カリキュラムのマニュアルや実践を通して研修をし、興味を持ち幼児クラスをしてみたいと思う職員の育成に尽力していく。そのために副主任や主任などカリキュラムが分かる職員がバックアップしていく体制作りが必要である。

### ③ 運営管理

#### 目標

- ・ 園児の集客に向け、広報活動を強化する。
- ・ エアコンの掃除、業者で行う。

### 振り返り・課題

- ・ 園児の集客に向けた宣伝としては保育の様子を毎日インスタにあげたり、新しいホームページでは体操の写真をいれアピールをした。まだまだ弱いと思うので、動画をインスタであげたり体操のインスタをあげる頻度を多くしたりと強化していく。
- ・ エアコンの掃除を半分業者に頼んだ。残りは来年度していく。
- ・ 今年度の運営面では秋から東京都すくわくプログラムを実施し、補助金150万円が出た中で鍵盤ハーモニカの講師費用・大量の絵本や紙芝居・パネルシター・エイサー太鼓を購入することができた。来年度引き続き行っていく。

## 3. 当年度目標と施策

### (1) 当年度目標

#### ① 保育活動 全体

- ・ 慈光メソッドの各年齢ごとの目標値を意識した取り組みをおこなう。
- ・ 足立区保育のガイドラインに基づく保育を参考にし、応答的な保育をする。
- ・ 園児管理を全職員が確認し、振り返りをし、よりよい保育につなげていく。
- ・ 定期的にクラス会議・乳児会議・幼児会議を行いクラス間の中でも報連相を遵守する。

① 保育活動 担当別

担当	目標
0 歳児	担任保育士との応答的保育により情緒の安定を図り、基本的信頼関係（愛着関係）の土台作りを行う。運動ができる環境を整え、一人一人の発達段階に応じた粗大運動を積極的に取り入れ、運動能力を引き出していく。又、五感を十分に働かせることができる人的・物的環境を整え、バランスのとれた発達を促していく。JPメソッド「ころがる・しがみつ く・ホッピング」を毎日とり入れる。
1 歳児	基本的な生活習慣への確立に向けて援助する。自我の芽生えの時期のため自分でやりたい気持ちを大切に受けとめ、「待つ保育」に徹することで主体性の芽生えを育む。散歩・サーキット運動・戸外遊び等自ら環境とかかわる経験の中で運動能力を高めていく。又、五感を十分に働かせることができる人的・物的環境を整え、バランスのとれた発達を促していく。JPメソッド「ころがる・しがみつ く・ホッピング」を毎日とり入れる。
2 歳児	目の前にある環境に興味関心をもって自ら関わろうとする好奇心全開のエネルギーを最大限に受け止め、五感をとおして主体的にかかわることのできる環境を整えていく。かけっこ・戸外遊び・運動遊びをとおして運動能力を高める。文字・英語への関心も促していく。 ブロック遊びを通して空間認識を高める。 犬・くま・へび歩き、かえるジャンプなどを行い、楽しんで体操にふれる。JPメソッド「ころがる・しがみつ く・ホッピング」を毎日とり入れる。
3 歳児	読み書き（語彙力・読み解き力）・数量・音楽・英語・体操・プログラミング思考・柔軟な心の育成を《教育・保育要領》の総合的な活動のなかで育成し、知・徳・体のバランスのとれた発達を目指す。 ひらがなの拾い読みができる。 友だちとの関係を築く。 什の決まりを知る。
4 歳児	4 歳児 読み書き（語彙力・読み解き力）・数量・音楽・英語・体操・プログラミング思考・柔軟な心の育成を《教育・保育要領》の総合的な活動のなかで育成し、知・徳・体のバランスのとれた発達を目指す。 ひらがな・カタカナが読め、ひらがなが書ける。 チームワークの基礎を学ぶ。 什の決まりを守ろうとする。
5 歳児	読み書き（語彙力・読み解き力）・数量・音楽・英語・体操・プログラミング思考・柔軟な心の育成を《教育・保育要領》の総合的な活動のなかで育成し、知・徳・体のバランスのとれた発達を目指す。 ひらがな・カタカナは完全に読み書きができる。 什の決まりを守ろうとする。 仲間を応援することができる。 年長児は、就学を意識した接続期の取り組みにより、スムーズな就学へとつなげていく。
フリー	

## ② 人材育成

- ・ 報連相を遵守し、情報を全員共有できるようにする。
- ・ 慈光メソッド・クレドを遵守した保育ができるようになる。
- ・ 本気の子育て応援隊として保護者に寄り添った対応ができるようになる。
- ・ 研修の機会を多く提供し職員全体が成長できるようにする。

## ③ 運営管理

- ・ クレドを遵守した職員の安心安全な職場環境づくりをする
- ・ すくわくプログラムを行い補助金を利用し、よりよい保育ができるようにする
- ・ 園児の集客に向け、広報活動を強化する。

## (2) 実施施策

### ① 保育活動

#### 施策 1

- ・ 0～2歳児について 遊びの中でできる体の動かし方(しがみつく・転がるなど)を毎日とりいれ身体づくりを行い、3歳からの体操につなげていく。
- 3歳以上児については慈光メソッド・JPメソッドを遵守したカリキュラムを毎日行っていく

#### 施策 2

- ・ 足立区保育のガイドライン・業務マニュアルを遵守し、保育指針に基づいた基本の保育を行っていく。

#### 施策 3

毎日3回以上は園児管理システムを確認する。

#### 施策 4

全体会議のときに乳児会議・幼児会議を行う。クラス会議については各クラスで時間を決めて行っていく。

#### 施策 5

##### 0歳児

##### ① 愛着形成

担任との応答的保育により情緒の安定を図り、基本的信頼関係の土台作りを行う。

##### ② 運動能力の向上

運動ができる環境を整え、一人ひとりの発達段階に応じた粗大運動を積極的にとりいれる。バランスボールを取り入れ身体づくりを行っていく。JPメソッド「ころがる・しがみつく・ホッピング」を毎日とりいれる。

##### ③ 五感の成長

五感を充分働かせることが出来る人的・物的環境を整え、バランスのとれた発達を促していく。

## 1 歳児

### ① 基本的な生活習慣の確立に向けての援助

自我の芽生えの時期なので、自分でやりたい気持ちを大切に受け止め、「待つ」保育に徹することで主体性の芽生えを育てていく。

### ② 運動能力を高める

散歩・サーキット運動・走ることを通して運動能力を高めていく。バランスボールを取り入れ身体づくりを行っていく。JPメソッド「ころがる・しがみつく・ホッピング」を毎日とり入れる。

### ③ 五感の成長

五感を充分働かせることが出来る人的・物的環境を整え、バランスのとれた発達を促していく。

## 施策 6

## 2 歳児

### ① 色々なことに主体的に関わろうとすることへの援助

目の前にある環境に興味関心をもって自ら関わろうとする好奇心全開のエネルギーを最大限に受け止め、五感をとおして主体的にかかわることのできる環境を整えていく。

### ② 運動能力を高める。

かけっこ・戸外遊び・運動遊びをとおして運動能力を高める。また、犬・くま・へび歩き、かえるジャンプなどを行い、楽しんで体操にふれる。JPメソッド「ころがる・しがみつく・ホッピング」を毎日とり入れる。

### ③ 文字・英語への関心を促す。

フラッシュカード・絵本を通して文字への関心を促していく。毎日のECC教育や活動の中で英語に触れる環境をつくっていく。

## 3 歳児

### ① 数・英語・文字に関心を持つ

ひらがなを読めるように援助していく。フラッシュカード・絵本の拾い読みを通してひらがなに興味を持たせる。毎日のECC教育や活動の中で英語に触れる環境をつくっていく。

### ② 身体能力の向上

毎日体操・かけっこを行うことでやりぬく力・忍耐力・協調性などの非認知能力を培っていく。

### ③ 仕の決まりを知る

全員で毎日唱えていく。

### ④ 友だちとの関係を築く

友達を遊びに誘ったり喧嘩しても仲直りすることができるよう援助していく。

## 施策7

### 4歳児

#### ① 文字・数の獲得

ワークや天神を毎日行い、ひらがなをなぞって書けるよう援助していく。

また、ワークや天神を使い数の概念が分かるようにする。

#### ② 身体能力の向上

毎日体操・かけっこを行うことでやりぬく力・忍耐力・協調性などの非認知能力を培っていく

#### ③ 英語の習得

ECCを毎日行い、英語に触れる環境をつくっていく。

#### ④ 鍵盤ハーモニカができるようになる

毎日鍵盤ハーモニカを行い、簡単な曲なら弾けるよう援助していく。

#### ⑤ チームワークの基礎を学ぶ

友だちと考えながら行動を共にすることができる。

### 5歳児

#### ① 文字・数の獲得

ワークや天神を毎日行い、ひらがな・カタカナが書けるよう援助していく。

また、ワークや天神を使い計算ができるようにする。

#### ② 身体能力の向上

毎日体操・マラソンを行うことでやりぬく力・忍耐力・協調性などの非認知能力を培っていく

#### ③ 英語の習得

ECCを毎日行い、英語に触れる環境をつくっていく。

#### ④ 鍵盤ハーモニカができるようになる

毎日鍵盤ハーモニカを行い、少し難しい曲が弾けるよう援助していく

#### ⑤ 仲間を応援することができる

体操などを通して、苦手なものに挑戦しようとする友達を応援することができるよう援助していく。

#### ⑥ 接続期を意識したプログラムを行う

保育所保育指針の「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を意識し、毎日カリキュラムをおこなっていく。

#### ⑦ 仕の決まりを守ろうとする。

## ② 人材育成

### 施策1

・保育中にあった怪我・伝えたほうがよい子どもの姿・難しい保護者対応などは全て上司・クラス内で報連相をする。また園児管理システムを使い全員が把握できるようにしていく。

### 施策2

慈光メソッドやクレドを遵守した保育ができるよう研修・会議をしていく。

### 施策3

本気の子育て応援隊として保護者に寄り添っていけるよう、職員会議を利用して保護者対応の研修をする。



## 年間行事予定

- 4月 入園式・進級式
- 5月 定期健康診断(全園児)・保育参観
- 6月 不審者訓練・歯磨き指導・歯科検診(全園児)
- 7月 七夕の会
- 8月 夏祭り
- 9月 引き取り訓練
- 10月 運動会・ハロウィン・芋ほり遠足(年長児)
- 11月 定期健康診断(全園児)
- 12月 クリスマス会・保護者講演会
- 1月 お正月遊び
- 2月 節分の会・発表会
- 3月 ひなまつり・卒園式

## 月例行事

身体計測・避難訓練

### ① 理念

すべての人の幸せを願って最善の利益を追求します 輝く瞳・溢れる笑顔

HAPPY SMILE THANK YOU SMILE  
EVERYBODY SMILE

### ② 運営方針

「不易流行」

法人の理念である子供達の最善の利益の追求を行うために、子供達の安全と成長発達を第一に考えたサービスを行うという不易の部分を経営の土台としながら、子供達一人一人の成長発達を行うために、既存のやり方にこだわることなく、科学的な根拠の元、様々な方法を試みながら、サービスを展開していきます。

上記の考えの元、どの子にも、安心と達成感を味わうことのできる療育サービスを行います。私たちは、子供達にできないことを繰り返し練習させてできるようにするのではなく、できないことにぶつかった子供たちが、「〇〇があったらできた!」「〇〇したらできた!」「〇〇に変えたらできた!」と感じられるサポートをすること、これが「支援」だと考えています。

「安心感と達成感のための仕掛け」これが支援であり、その仕掛けを探し、見つけて、実践することが私たち療育機関の役割だと考えています。

子供達にとって意味のある活動を通して、「やった!」という達成感や「できた!」という達成感をたくさんえられるように支援していきます。

### ③ 療育の目標

子育ての最終目標は「自立」です。例え障がいがあっても、周りの方の協力や様々な福祉サービスを利用しながら、可能な限りの自立をはかり、人生を楽しみながら社会の一員として生きていくべきだと思います。

法人ではこれまで、保育・幼児教育の世界で82年間、困り感や障がいのある子ども達と数多く関わってきました。

多くの実践の中で確信をもって言えることは、「すべての子どもの可能性は無限大」ということです。障がいがあっても、それは一つの個性です。不得意なことがあれば、必ず得意なことがあります。その個性を一つ一つ丁寧に伸ばしていくことで、他の能力も必ず伸びてきます。幼少期の頃にしっかりとした土台をつくってあげれば、それは一生の財産となります。

今まで関わってきた様々な障がいをもっている子どもたちの中には、小学生で跳び箱15段を跳ぶ子もいれば、漢検や数検を自分の学年以上の級をとる子、プログラミングや制作で想像力豊かな大人顔負けの作品を作る子、人を楽しませるのが得意な子と様々です。

『根を育てれば樹は育つ!』どんな子でも必ず素晴らしい可能性を持っています。

LSJでは、ご家庭や関係機関と協力しながら、子ども達の成長・発達を、専門性を持った職員がしっかりサポートしていきます。

### ③ 事業内容

#### (1) 実施事業

児童発達支援事業、放課後等デイサービス

#### (2) 職員構成

管理者（児童発達管理責任者兼務）	1名
児童指導員または保育士（常勤）	6名
保育士パート	1名

#### (3) 営業日、営業時間

月曜日～金曜日 9時半～12時、13時～17時半  
土曜日、長期休暇期間 9時半～17時半

#### (4) サービス提供時間

児発：10時～12時 13時半～17時半  
放デイ：平日 13時半～17時半 学校休業日 10時から～17時半

#### (5) 具体的な療育内容

- ☆運動療法（運動療法の詳細は別紙参照）
    - ・遊びを通じた、感覚・運動面に対する支援
    - ・日常生活における基本的動作の指導（道具や方法の検討）
  - ☆ 学習支援 習熟度に合わせた学習支援
  - ☆ ご家族へのアドバイス
  - ☆ 各関係機関との連携
- ※利用児の状況に応じて、個別またはグループでの活動を設定する。

#### 児童発達支援流れ

送迎～各人ごとの運動療法・SST（約1時間～2時間）～送迎

#### 放課後等デイサービス流れ

（平日） 送迎～間食～学習支援（宿題含む）～自由遊び・運動療育～送迎  
（学校休業日） 送迎～学習支援～昼食～自由遊び・体験学習・野外活動等～間食～自由遊び・  
体験学習・野外活動等～送迎

### ⑤ 施設の状況

賃借物件 1階テナント（東京都足立区竹の塚3丁目3番14号 パレスホリケファイブ101）

### ⑥ 経営（財務） 予算書参照



### ① 理念

すべての人の幸せを願って最善の利益を追求します 輝く瞳・溢れる笑顔

HAPPY SMILE THANK YOU SMILE  
EVERYBODY SMILE

### ② 運営方針

「不易流行」

法人の理念である子供達の最善の利益の追求を行うために、子供達の安全と成長発達を第一に考えたサービスを行うという不易の部分を経営の土台としながら、子供達一人一人の成長発達を行うために、既存のやり方にこだわることなく、科学的な根拠の元、様々な方法を試みながら、サービスを展開していきます。

上記の考えの元、どの子にも、安心と達成感を味わうことのできる療育サービスを行います。私たちは、子供達にできないことを繰り返し練習させてできるようにするのではなく、できないことにぶつかった子供たちが、「〇〇があったらできた!」「〇〇したらできた!」「〇〇に変えたらできた!」と感じられるサポートをすること、これが「支援」だと考えています。

「安心感と達成感のための仕掛け」これが支援であり、その仕掛けを探し、見つけて、実践することが私たち療育機関の役割だと考えています。

子供達にとって意味のある活動を通して、「やった!」という達成感や「できた!」という達成感をたくさんえられるように支援していきます。

### ③ 療育の目標

子育ての最終目標は「自立」です。例え障がいがあっても、周りの方の協力や様々な福祉サービスを利用しながら、可能な限りの自立をはかり、人生を楽しみながら社会の一員として生きていくべきだと思います。

法人ではこれまで、保育・幼児教育の世界で82年間、困り感や障がいのある子ども達と数多く関わってきました。

多くの実践の中で確信をもって言えることは、「すべての子どもの可能性は無限大」ということです。障がいがあっても、それは一つの個性です。不得意なことがあれば、必ず得意なことがあります。その個性を一つ一つ丁寧に伸ばしていくことで、他の能力も必ず伸びてきます。幼少期の頃にしっかりとした土台をつくってあげれば、それは一生の財産となります。

今まで関わってきた様々な障がいをもっている子どもたちの中には、小学生で跳び箱15段を跳ぶ子もいれば、漢検や数検を自分の学年以上の級をとる子、プログラミングや制作で想像力豊かな大人顔負けの作品を作る子、人を楽しませるのが得意な子と様々です。

『根を育てれば樹は育つ!』どんな子でも必ず素晴らしい可能性を持っています。

LSJでは、ご家庭や関係機関と協力しながら、子ども達の成長・発達を、専門性を持った職員がしっかりサポートしていきます。

### ③ 事業内容

#### (1) 実施事業

児童発達支援事業、放課後等デイサービス

#### (2) 職員構成

管理者（児童発達管理責任者兼務）	1名
児童指導員または保育士（常勤）	5名
指導員	0名

#### (3) 営業日、営業時間

月曜日～金曜日 9時半～12時、13時半～17時半  
土曜日、長期休暇 9時半～17時半

#### (4) サービス提供時間

児発：10時～12時 13時半～17時半  
放デイ：平日 13時半～17時半 学校休業日 10時から～17時半

#### (5) 具体的な療育内容

- ☆運動療法（運動療法の詳細は別紙参照）
    - ・遊びを通じた、感覚・運動面に対する支援
    - ・日常生活における基本的動作の指導（道具や方法の検討）
  - ☆学習支援 習熟度にあわせた学習支援
  - ☆ご家族へのアドバイス
  - ☆各関係機関との連携
- ※利用児の状況に応じて、個別またはグループでの活動を設定する。

#### 児童発達支援流れ

送迎～各人ごとの運動療法・SST（約1時間～2時間）～送迎

#### 放課後等デイサービス流れ

（平日） 送迎～間食～学習支援（宿題含む）～自由遊び・運動療育～送迎  
（学校休業日） 送迎～学習支援～昼食～自由遊び・体験学習・野外活動等～間食～自由遊び・  
体験学習・野外活動等～送迎

### ⑤ 施設の状況

賃借物件 1階テナント（東京都足立区梅田7丁目25番2号 高須ビル101）

### ⑥ 経営（財務） 予算書参照



① 理念

すべての人の幸せを願って最善の利益を追求します 輝く瞳・溢れる笑顔

HAPPY SMILE THANK YOU SMILE

EVERYBODY SMILE

② 運営方針

「不易流行」

法人の理念である子供達の最善の利益の追求を行うために、子供達の安全と成長発達を第一に考えたサービスを行うという不易の部分を経営の土台としながら、子供達一人一人の成長発達を行うために、既存のやり方にこだわることなく、科学的な根拠の元、様々な方法を試みながら、サービスを展開していきます。

上記の考えの元、どの子にも、安心と達成感を味わうことのできる療育サービスを行います。私たちは、子供達にできないことを繰り返し練習させてできるようにするのではなく、できないことにぶつかった子供たちが、「〇〇があったらできた!」「〇〇したらできた!」「〇〇に変えたらできた!」と感じられるサポートをすること、これが「支援」だと考えています。

「安心感と達成感のための仕掛け」これが支援であり、その仕掛けを探し、見つけて、実践することが私たち療育機関の役割だと考えています。

子供達にとって意味のある活動を通して、「やった!」という達成感や「できた!」という達成感をたくさんえられるように支援していきます。

③ 療育の目標

子育ての最終目標は「自立」です。例え障がいがあっても、周りの方の協力や様々な福祉サービスを利用しながら、可能な限りの自立をはかり、人生を楽しみながら社会の一員として生きていくべきだと思います。

法人ではこれまで、保育・幼児教育の世界で82年間、困り感や障がいのある子ども達と数多く関わってきました。

多くの実践の中で確信をもって言えることは、「すべての子どもの可能性は無限大」ということです。障がいがあっても、それは一つの個性です。不得意なことがあれば、必ず得意なことがあります。その個性を一つ一つ丁寧に伸ばしていくことで、他の能力も必ず伸びてきます。幼少期の頃にしっかりとした土台をつくってあげれば、それは一生の財産となります。

今まで関わってきた様々な障がいをもっている子どもたちの中には、小学生で跳び箱15段を跳ぶ子もいれば、漢検や数検を自分の学年以上の級をとる子、プログラミングや制作で想像力豊かな大人顔負けの作品を作る子、人を楽しませるのが得意な子と様々です。

『根を育てれば樹は育つ!』どんな子でも必ず素晴らしい可能性を持っています。

LSJでは、ご家庭や関係機関と協力しながら、子ども達の成長・発達を、専門性を持った職員がしっかりサポートしていきます。

### ③ 事業内容

#### (1) 実施事業

児童発達支援事業、放課後等デイサービス

#### (2) 職員構成

管理者（児童発達管理責任者兼務）	1名
児童発達支援管理責任者	1名
児童指導員または保育士（常勤）	7名
指導員パート	2名

#### (3) 営業日、営業時間

月曜日～金曜日 9時半～12時、13時半～17時半  
土曜日、長期休暇 9時半～17時半

#### (4) サービス提供時間

児発：10時～12時 13時半～17時  
放デイ：平日 13時半～17時半 学校休業日 10時から～17時半

#### (5) 具体的な療育内容

☆運動療法（運動療法の詳細は別紙参照）

- ・遊びを通じた、感覚・運動面に対する支援
- ・日常生活における基本的動作の指導（道具や方法の検討）

☆ 学習支援 習熟度に応じた学習支援

☆ ご家族へのアドバイス

☆ 各関係機関との連携

※利用児の状況に応じて、個別またはグループでの活動を設定する。

#### 児童発達支援流れ

送迎～各人ごとの運動療法・SST（約1時間～2時間）～送迎

#### 放課後等デイサービス流れ

（平日） 送迎～間食～学習支援（宿題含む）～自由遊び・運動療育～送迎

（学校休業日） 送迎～学習支援～昼食～自由遊び・体験学習・野外活動等～間食～自由遊び・体験学習・野外活動等～送迎

### ⑤ 施設の状況

賃借物件 1階テナント（東京都足立区谷在家2丁目12番10号 パークサイドレジデンス1階）

### ⑥ 経営（財務） 予算書参照

